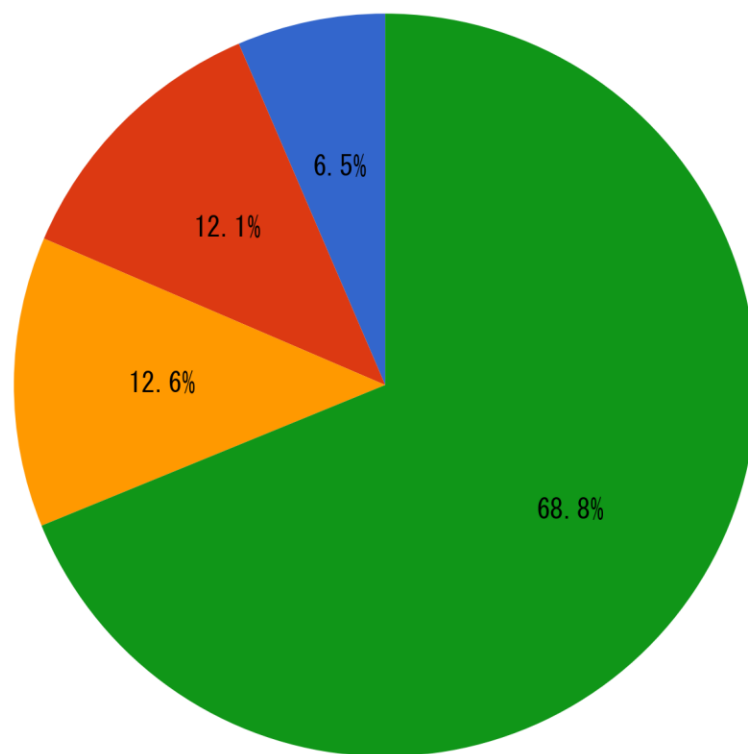


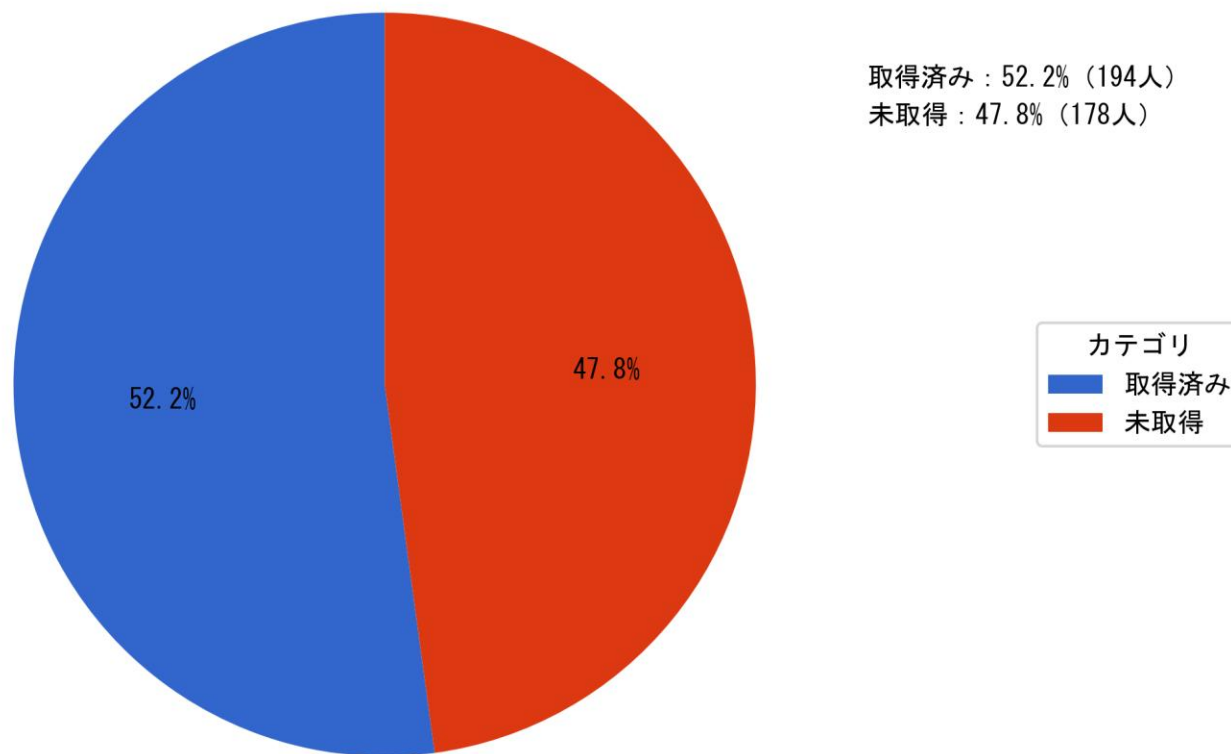
# 1. 医学部卒業後何年目ですか？



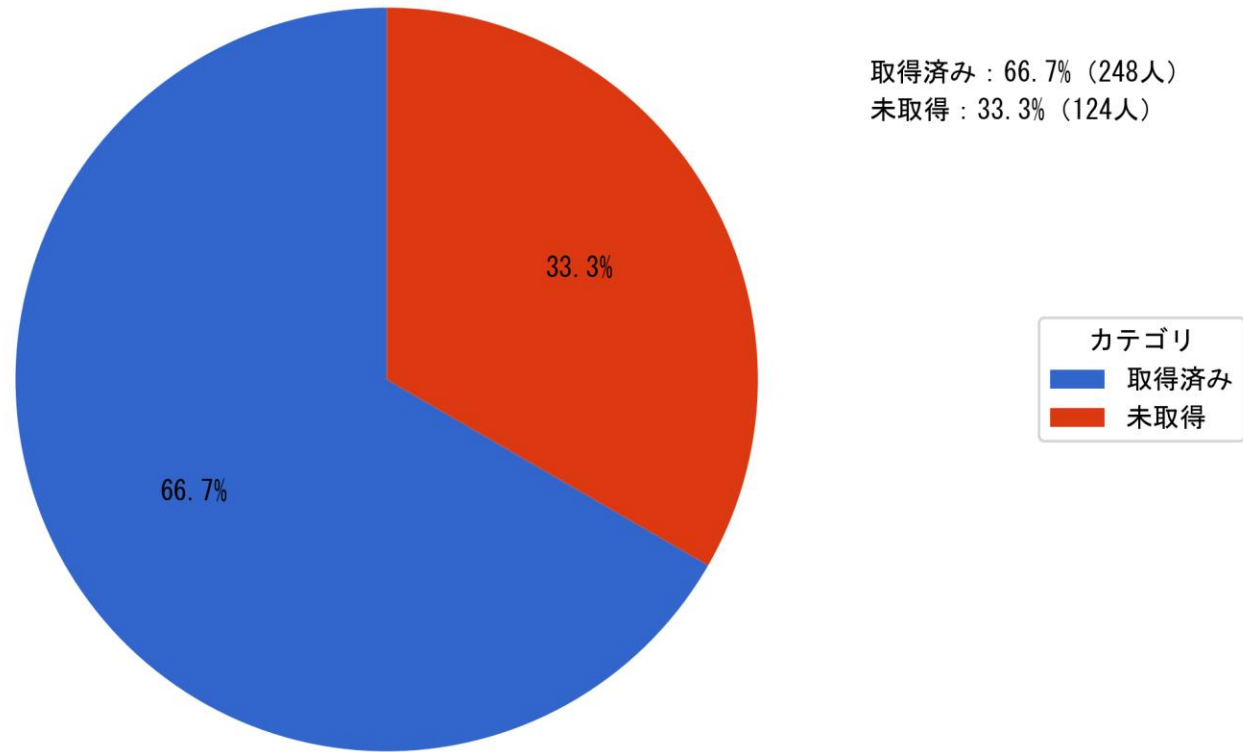
5～10年目 : 6.5% (24人)  
11～15年目 : 12.1% (45人)  
16～20年目 : 12.6% (47人)  
21年目以上 : 68.8% (256人)



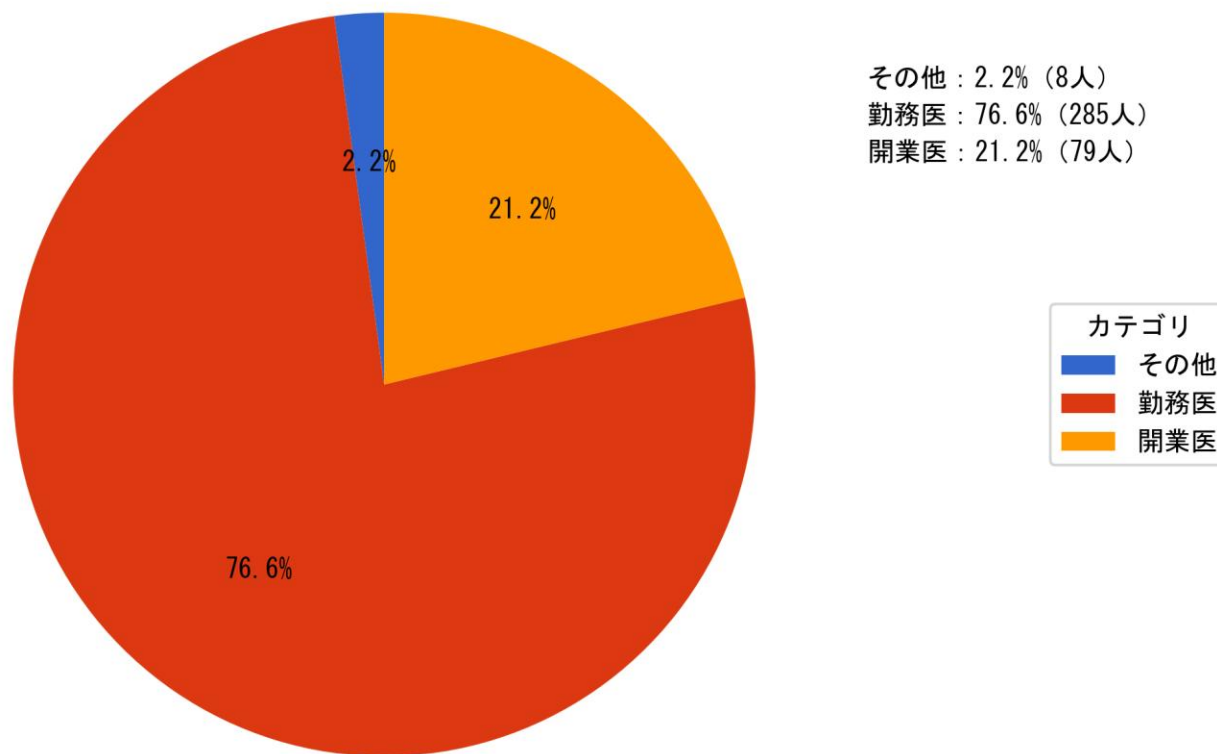
## 2. 日本専門医機構認定内科専門医の取得状況を教えてください。



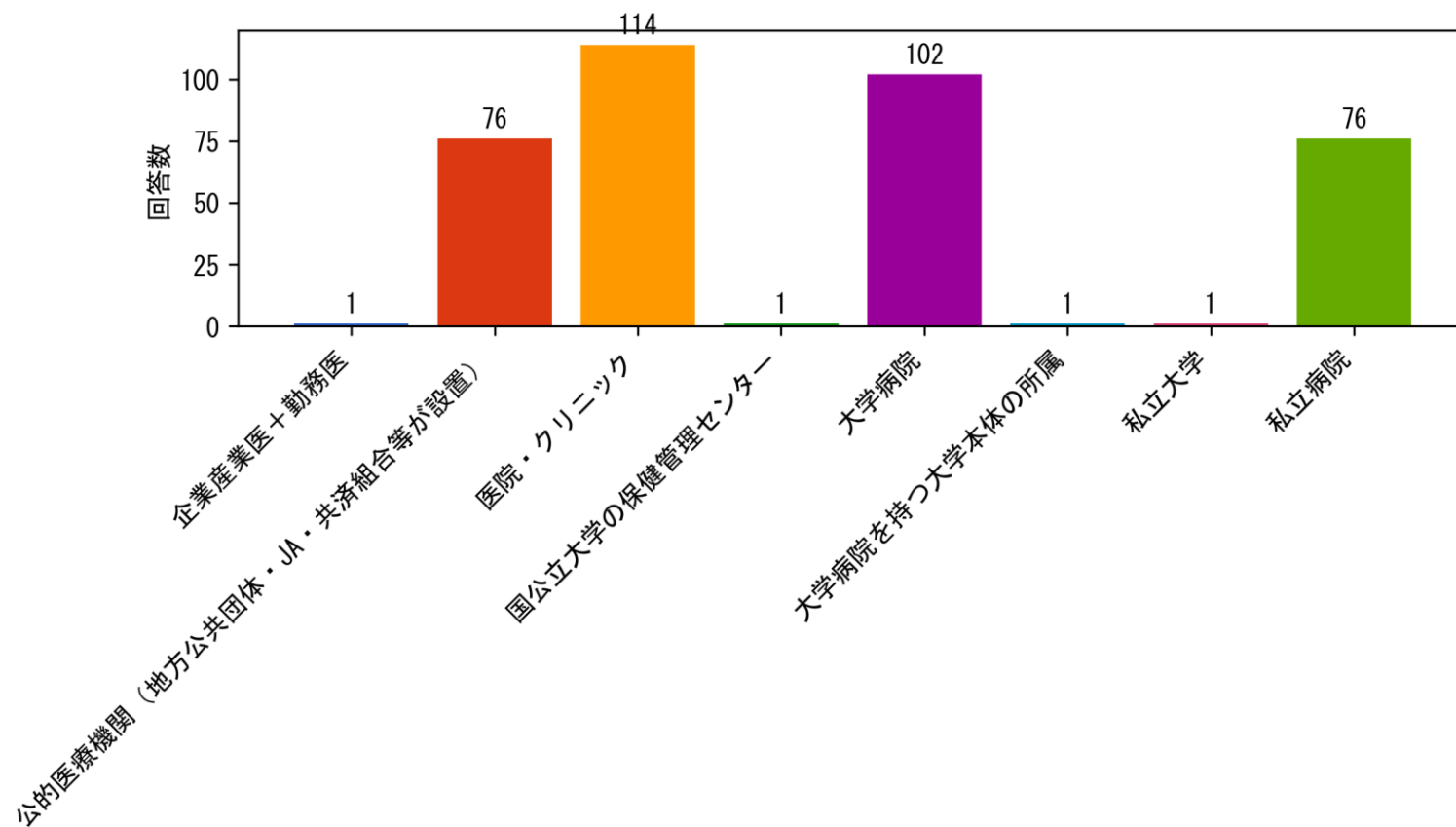
### 3. 日本内科学会認定総合内科専門医の取得状況を教えてください。



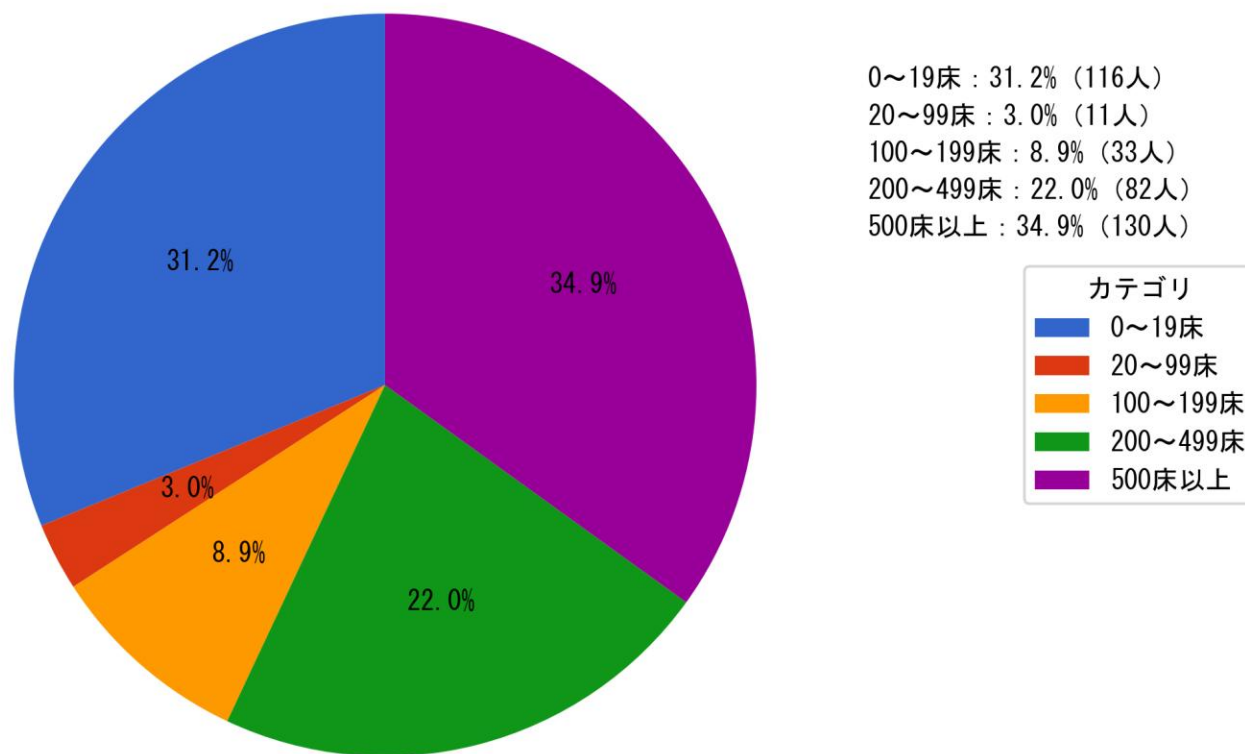
## 4. 勤務形態を教えてください。



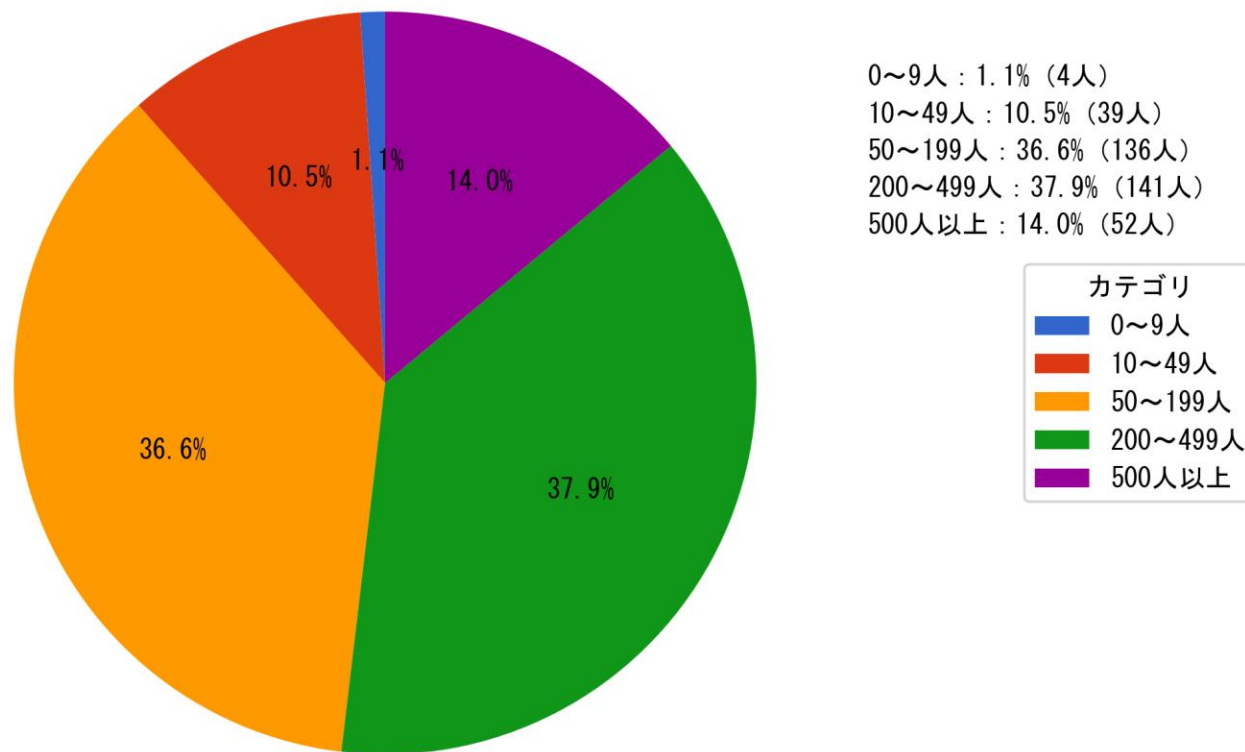
## 5. 所属機関を教えてください。



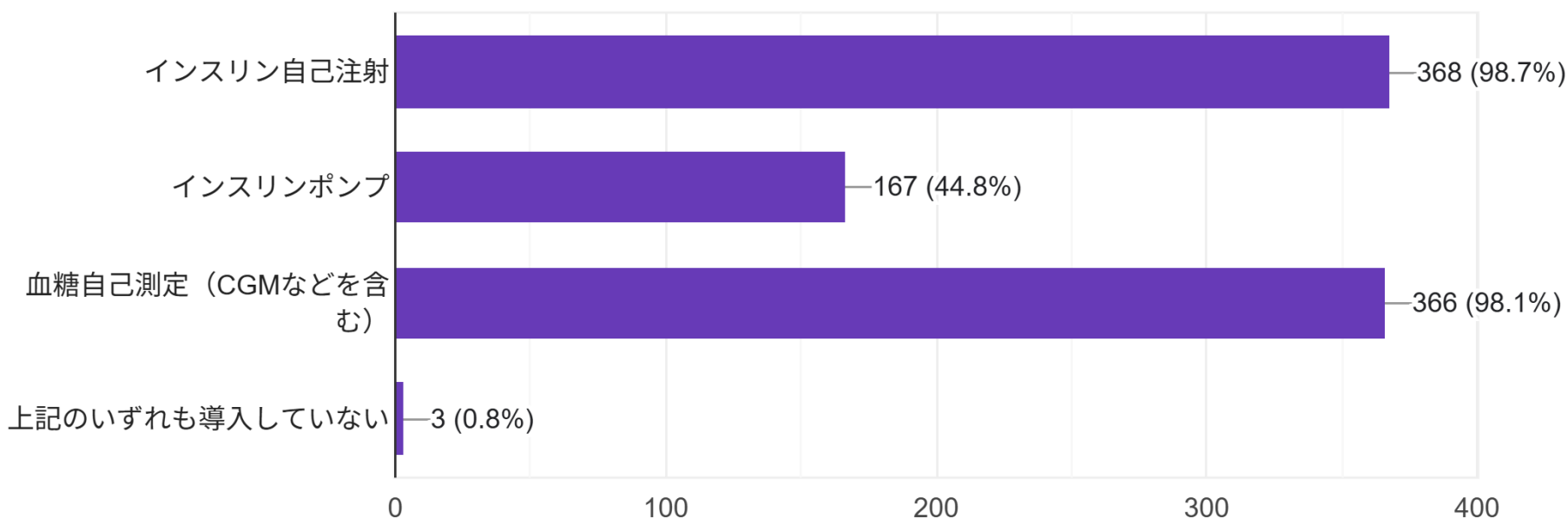
## 6. 所属機関の病床数を教えてください。



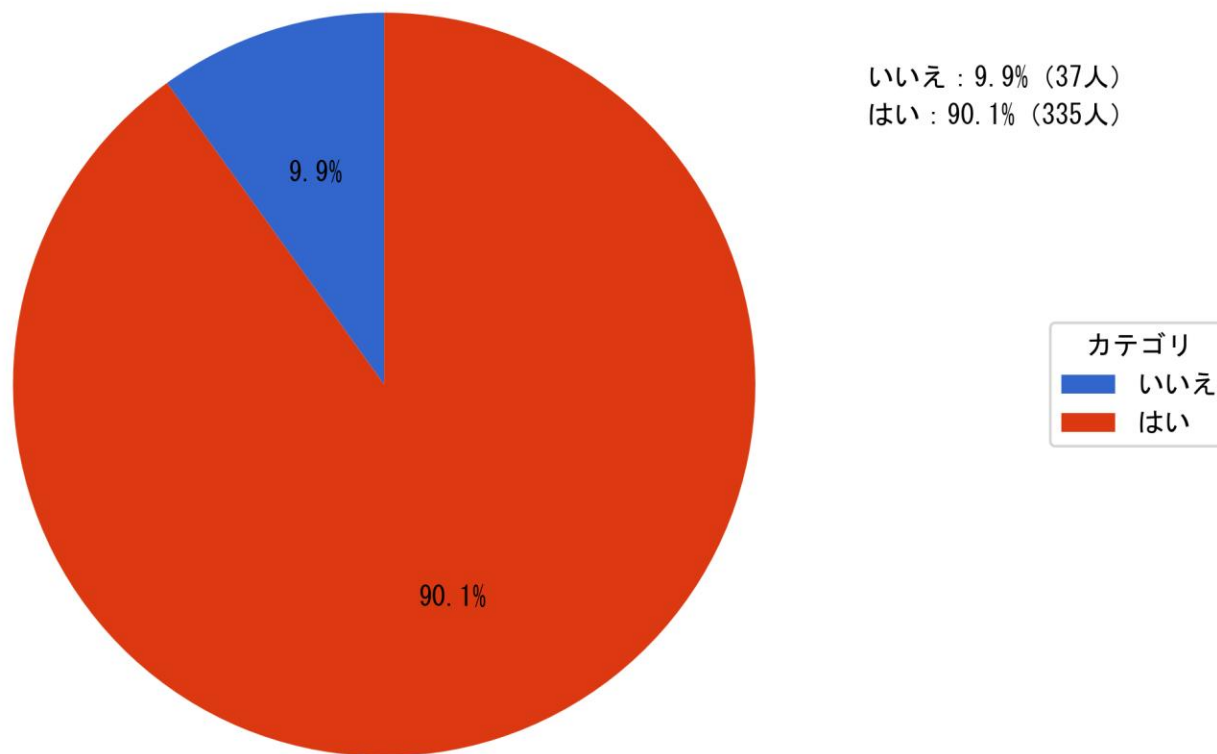
## 7. 1カ月あたりに診察する糖尿病患者数を教えてください。



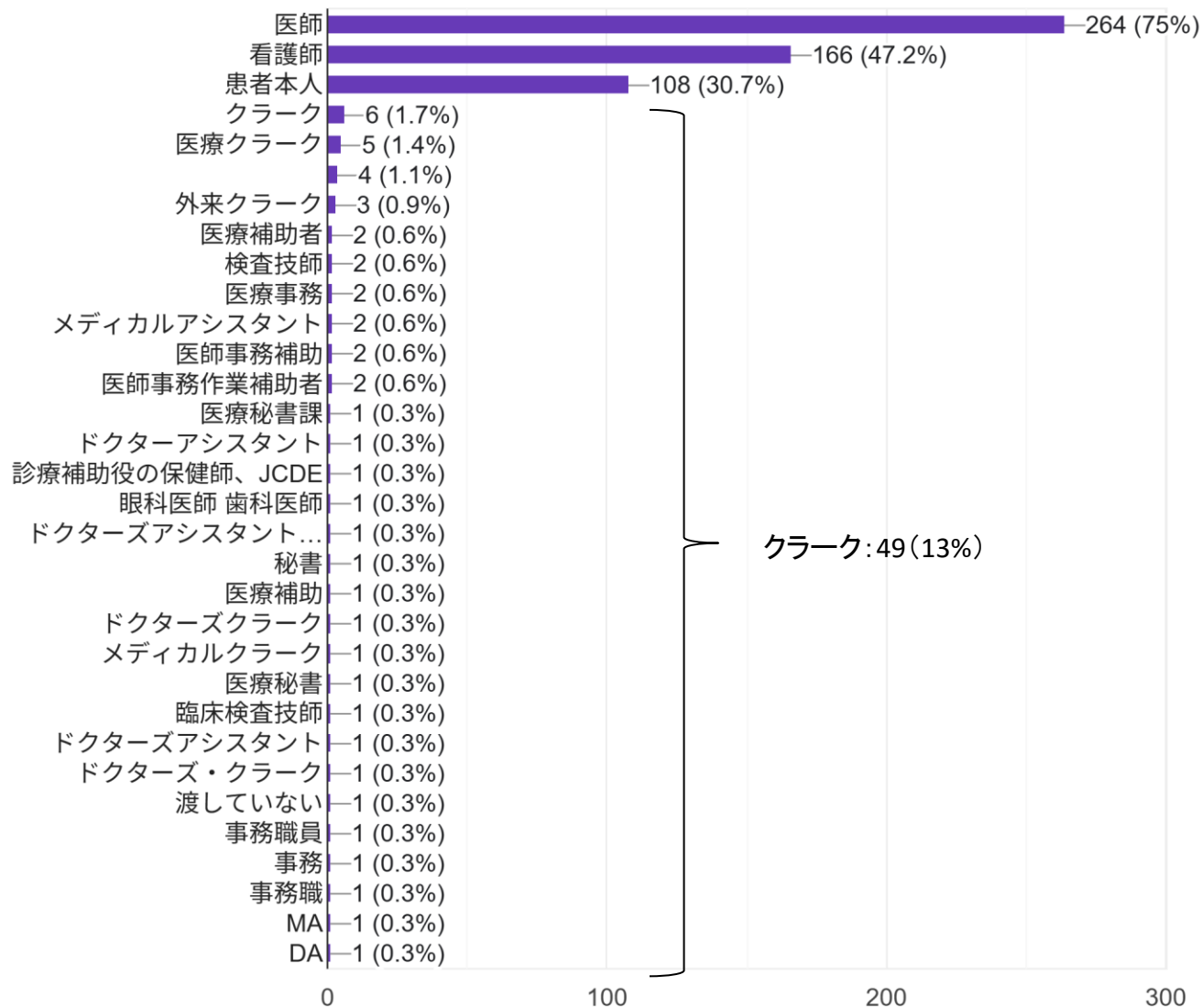
## 8. 外来で導入している療養について教えてください。（複数選択可）



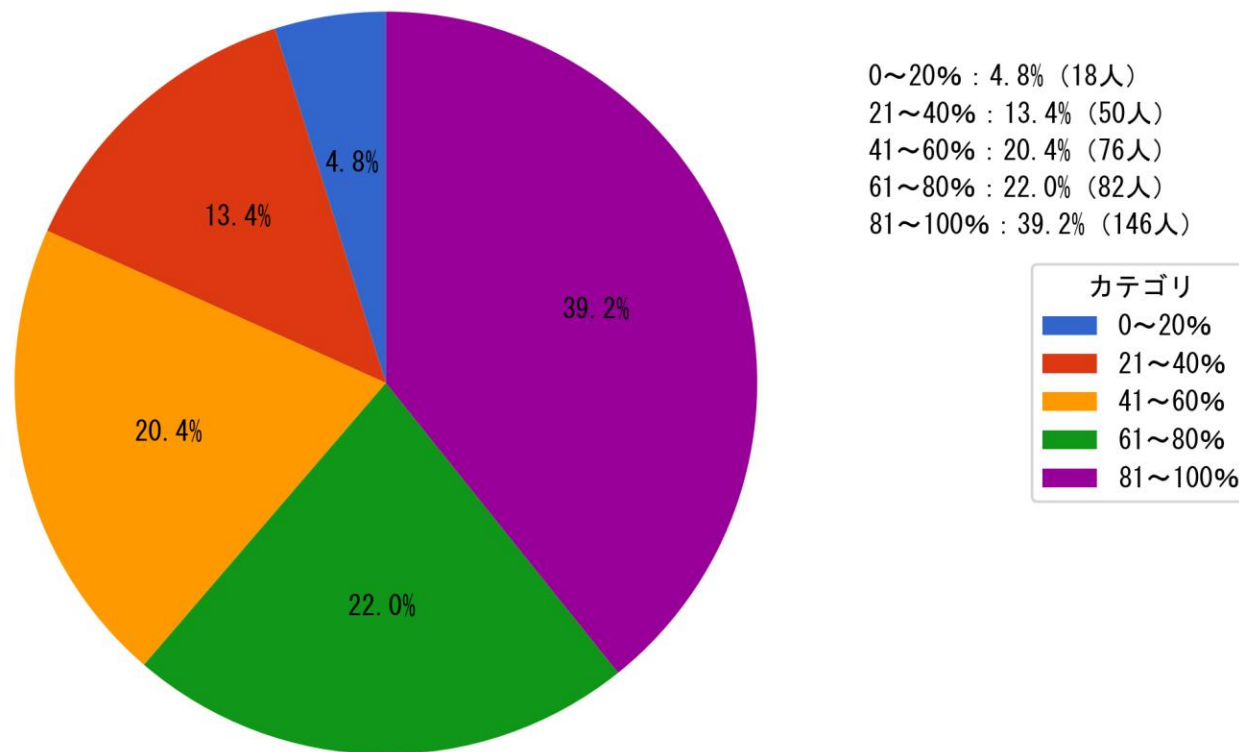
## 9. 糖尿病連携手帳を活用していますか？



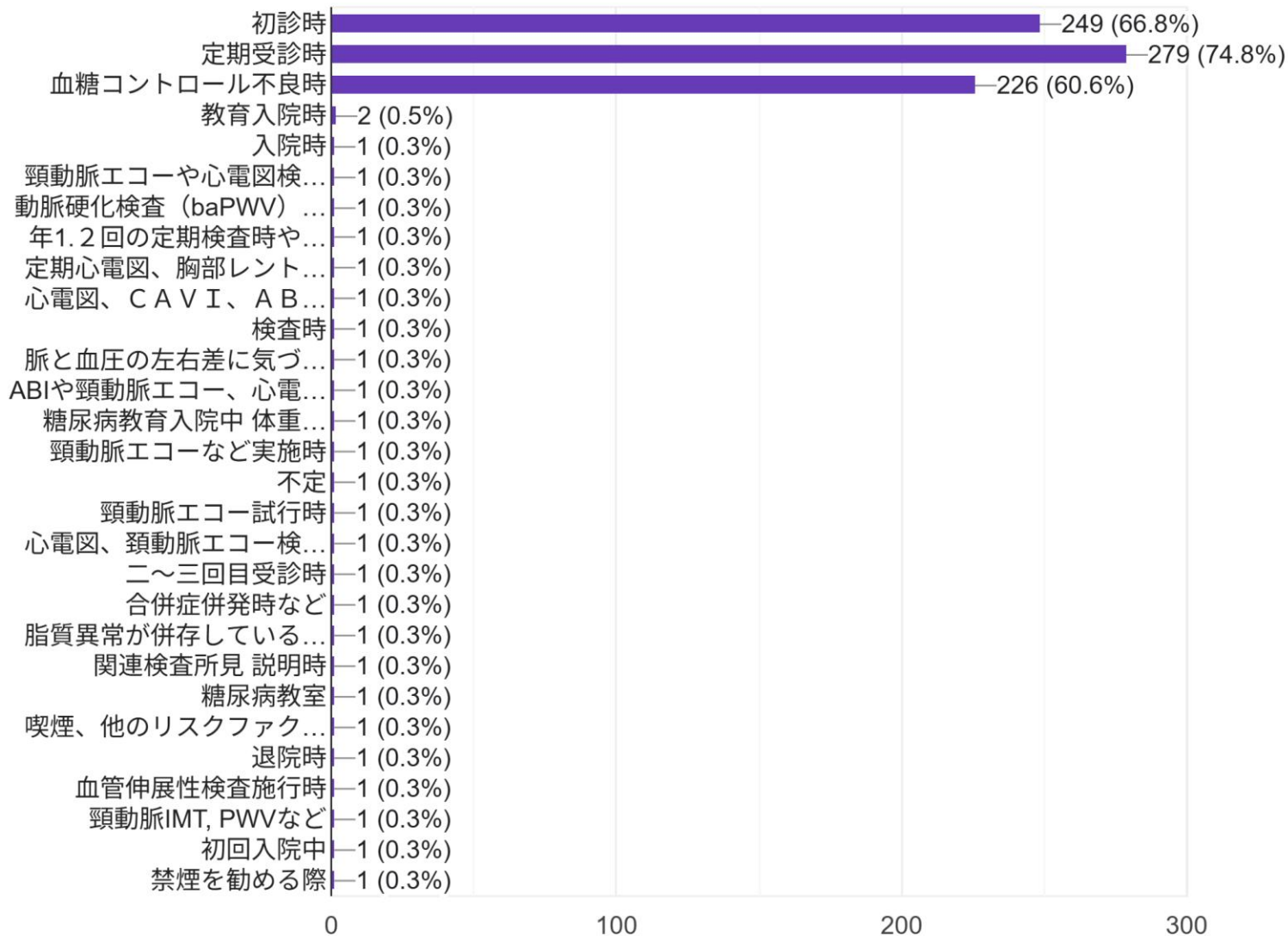
## 10. 糖尿病連携手帳の記入は誰が行っていますか？ (複数選択可)



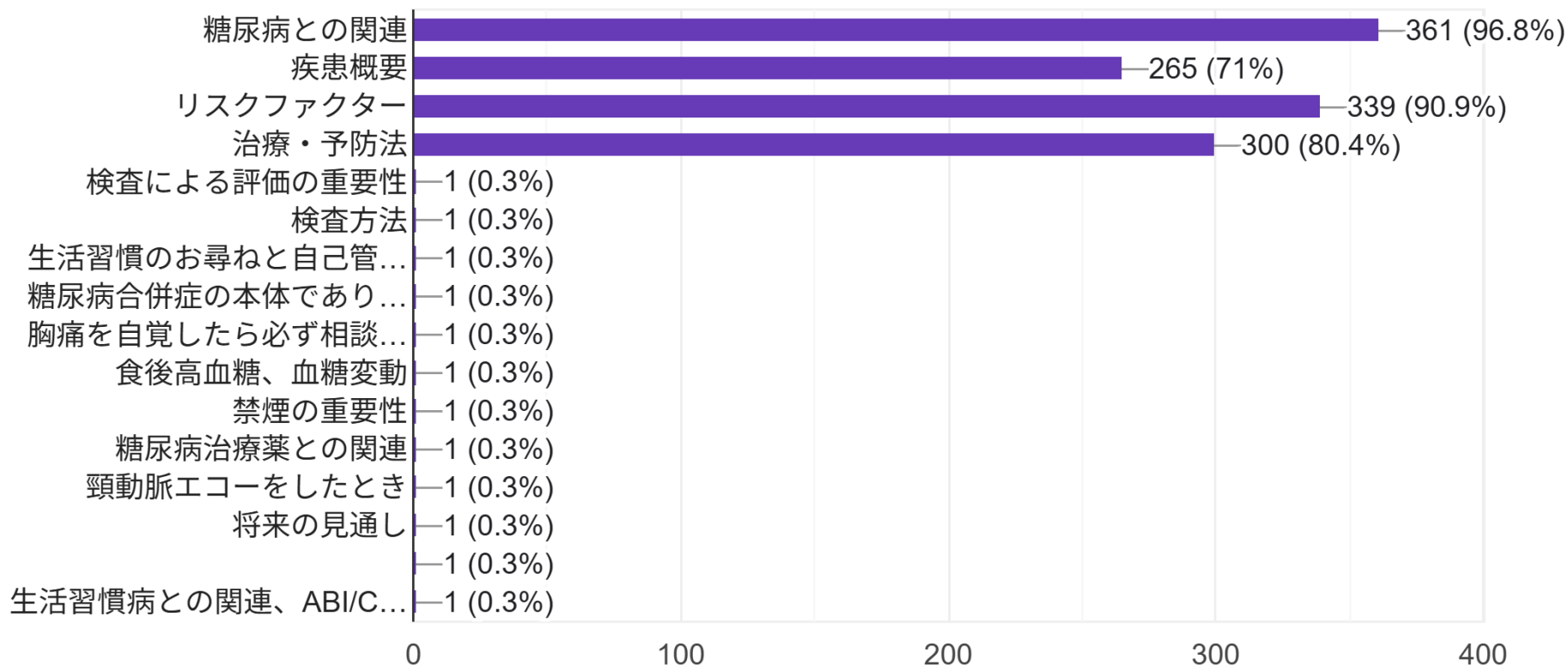
## 11. 動脈硬化症について説明済みの患者の割合はどのくらいですか？



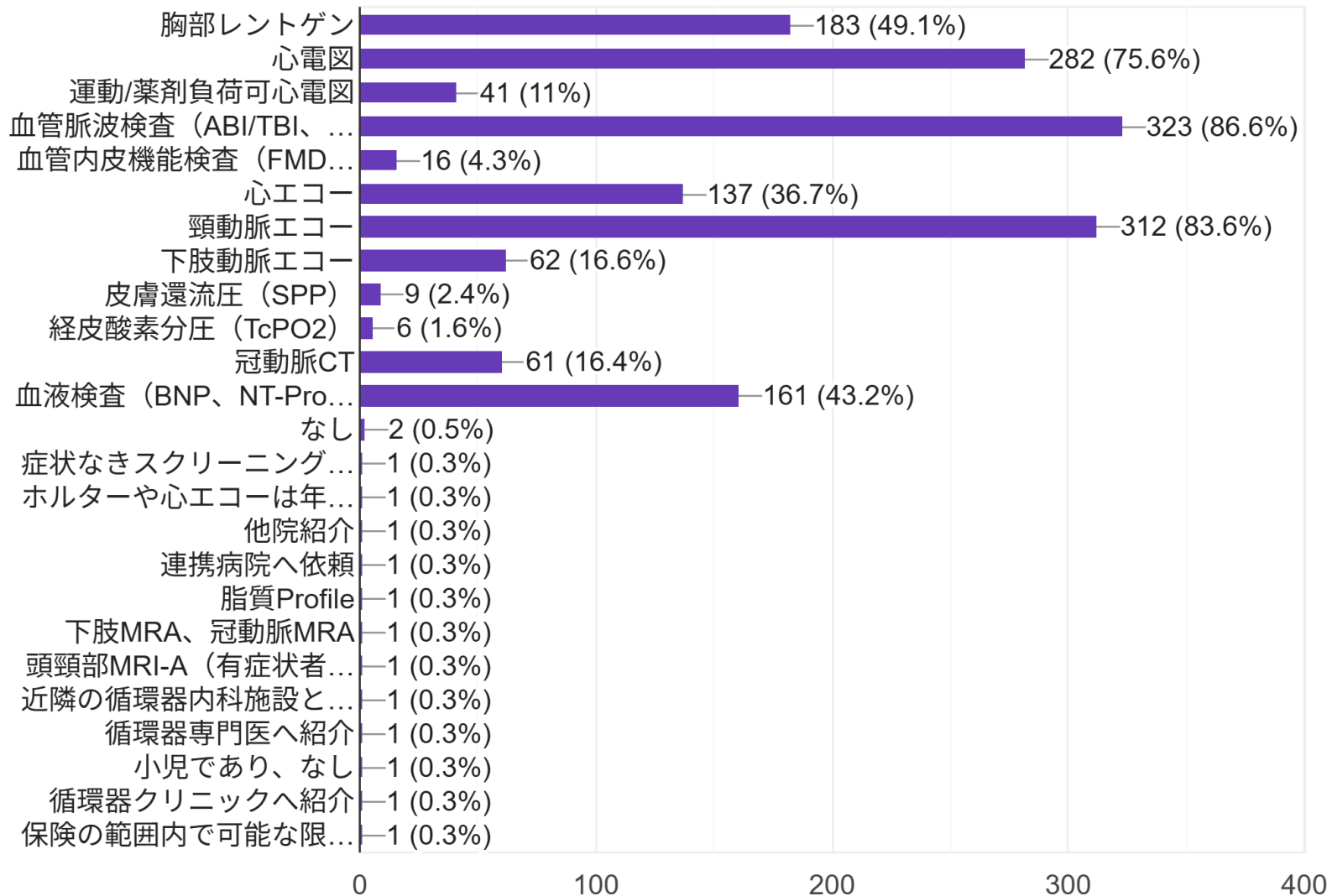
## 12. 説明するタイミングはいつですか？（複数選択可）



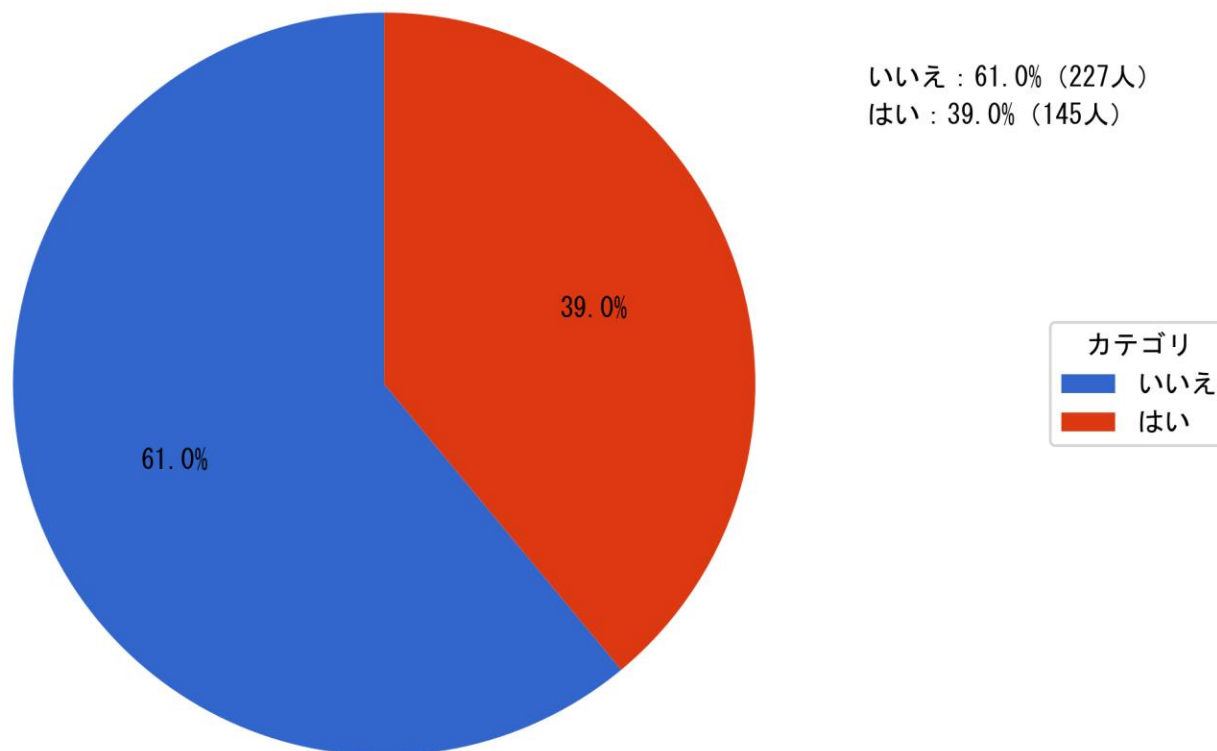
# 13. 動脈硬化症の説明内容を教えてください。 (複数選択可)



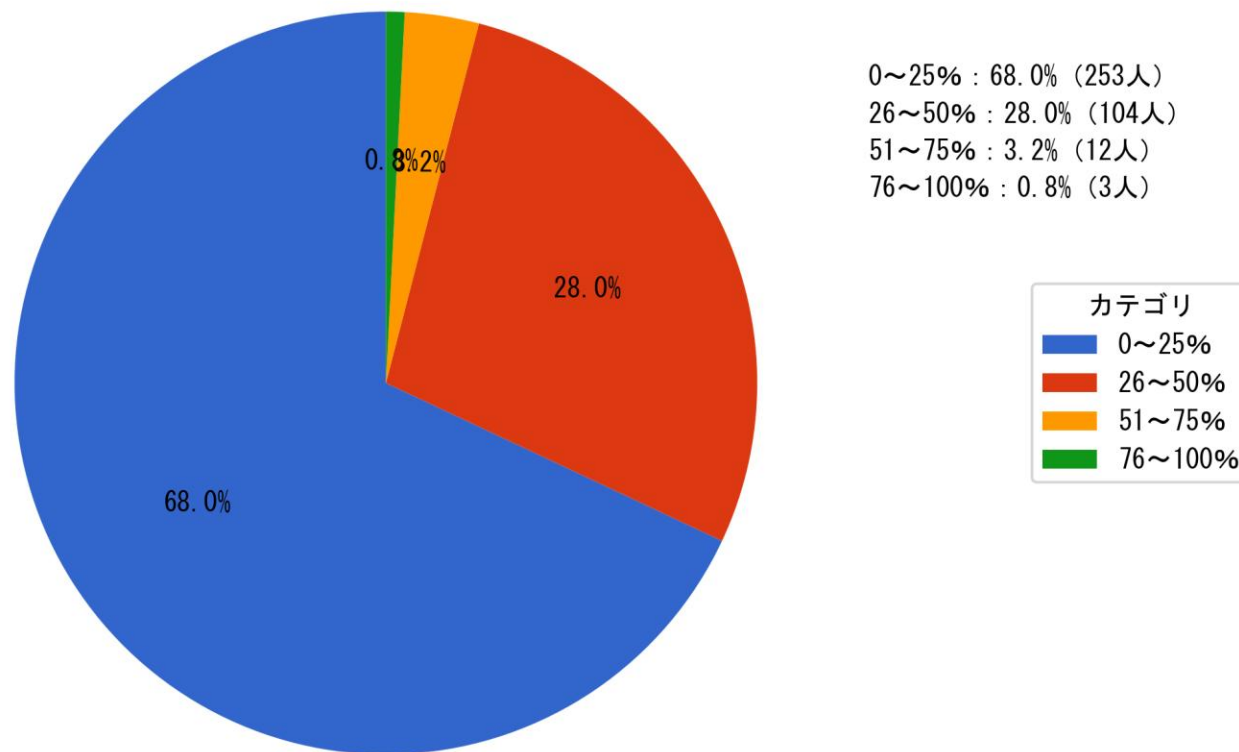
## 14. 動脈硬化症のスクリーニング・評価として実施している検査を選んでください。（複数選択可）



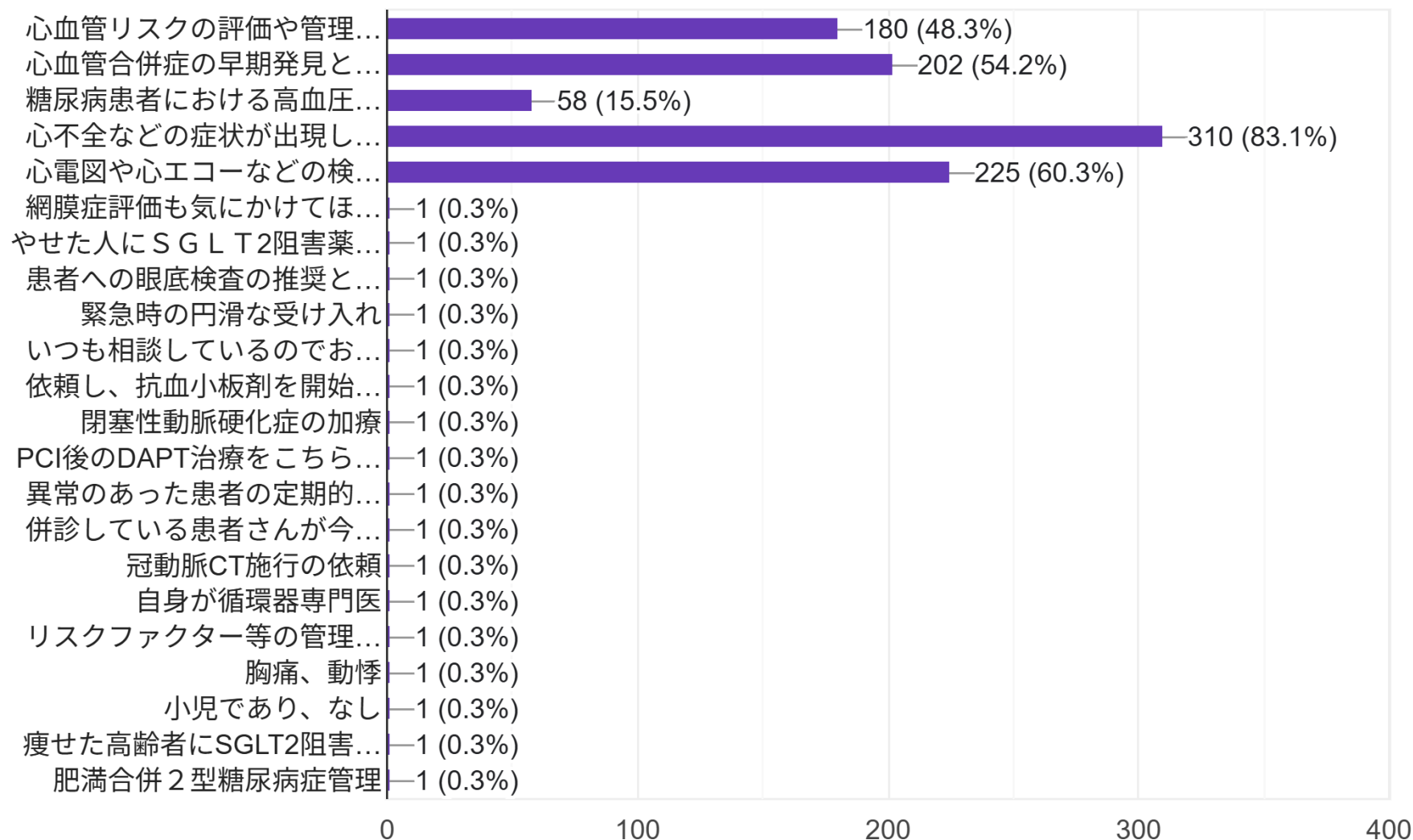
# 15. 「糖代謝異常者における循環器病の診断・予防・治療に関するコンセンサスステートメント」を活用していますか？



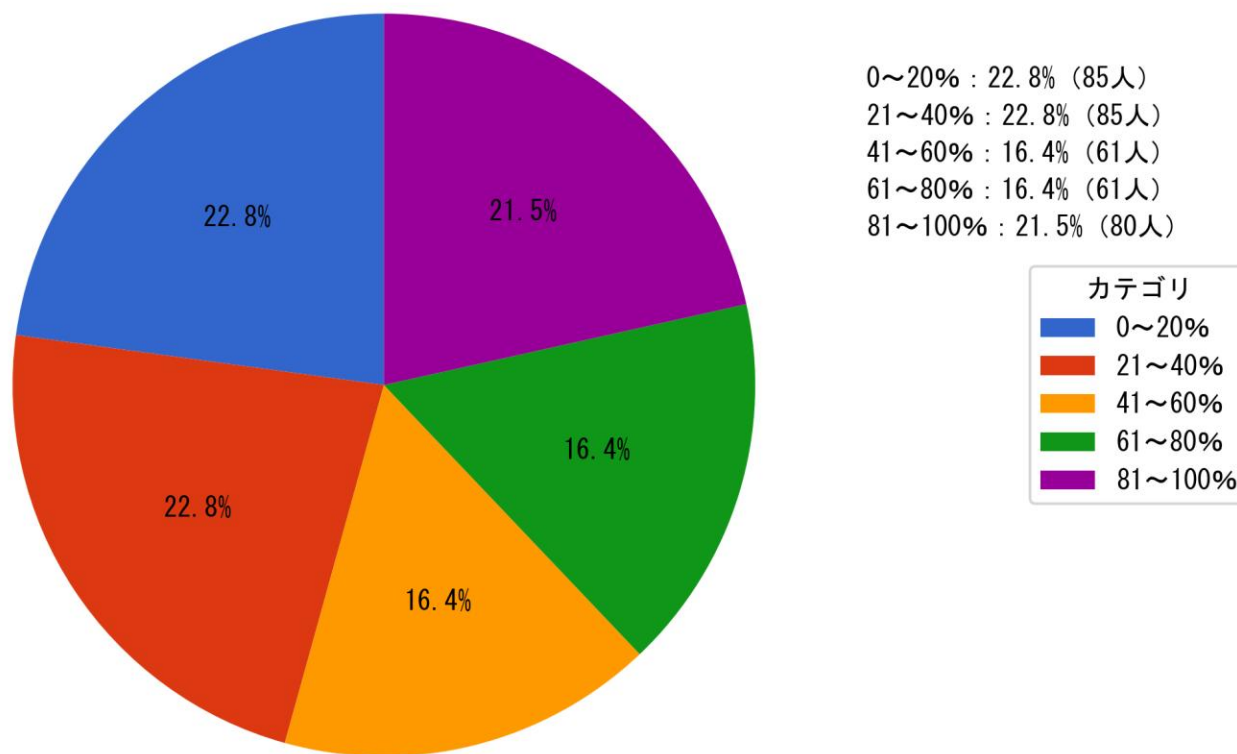
## 16. 循環器内科と併診している患者の割合はどのくらいですか？



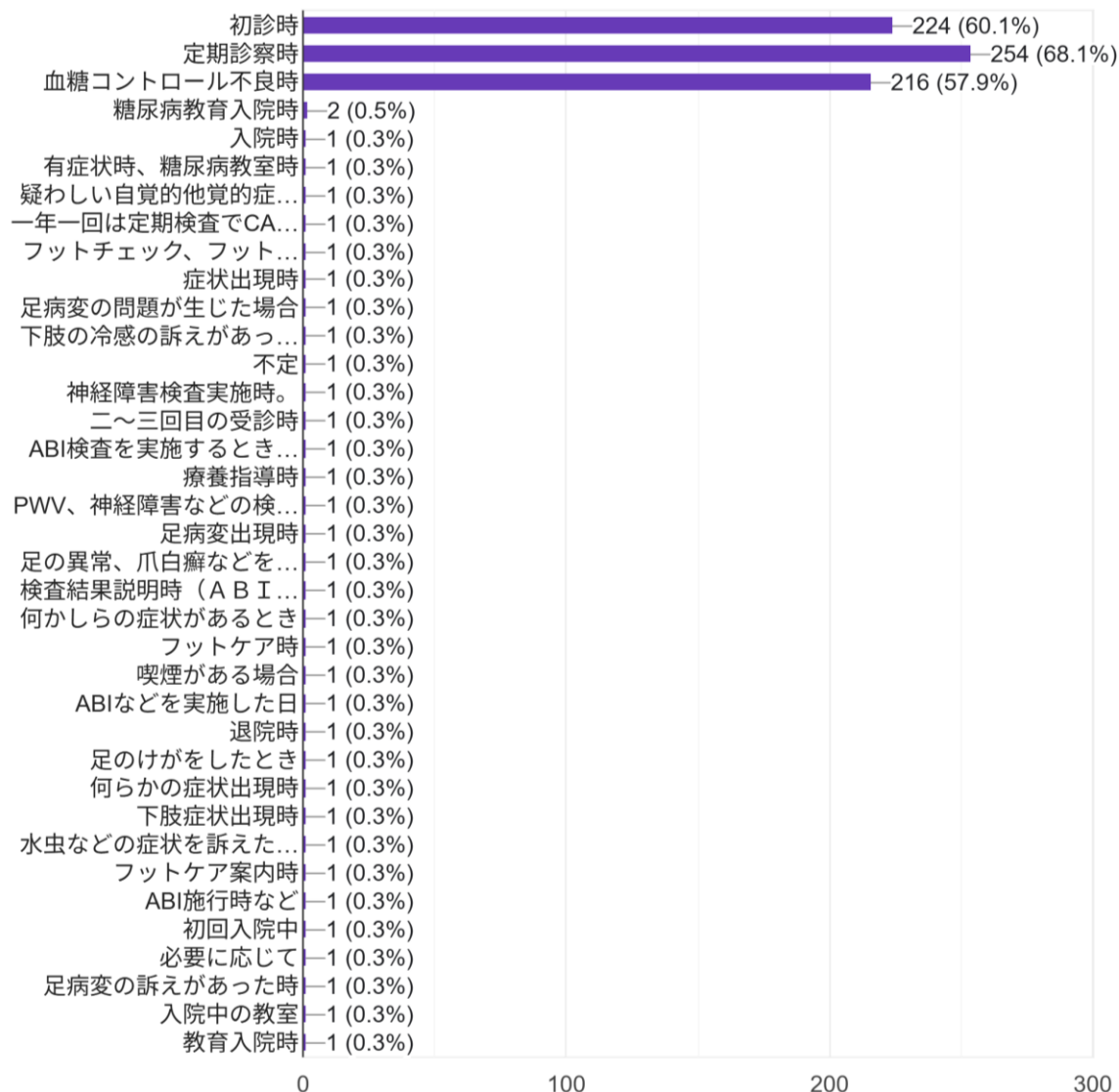
## 17. 循環器内科医にお願いしたいことはありますか？（複数選択可）



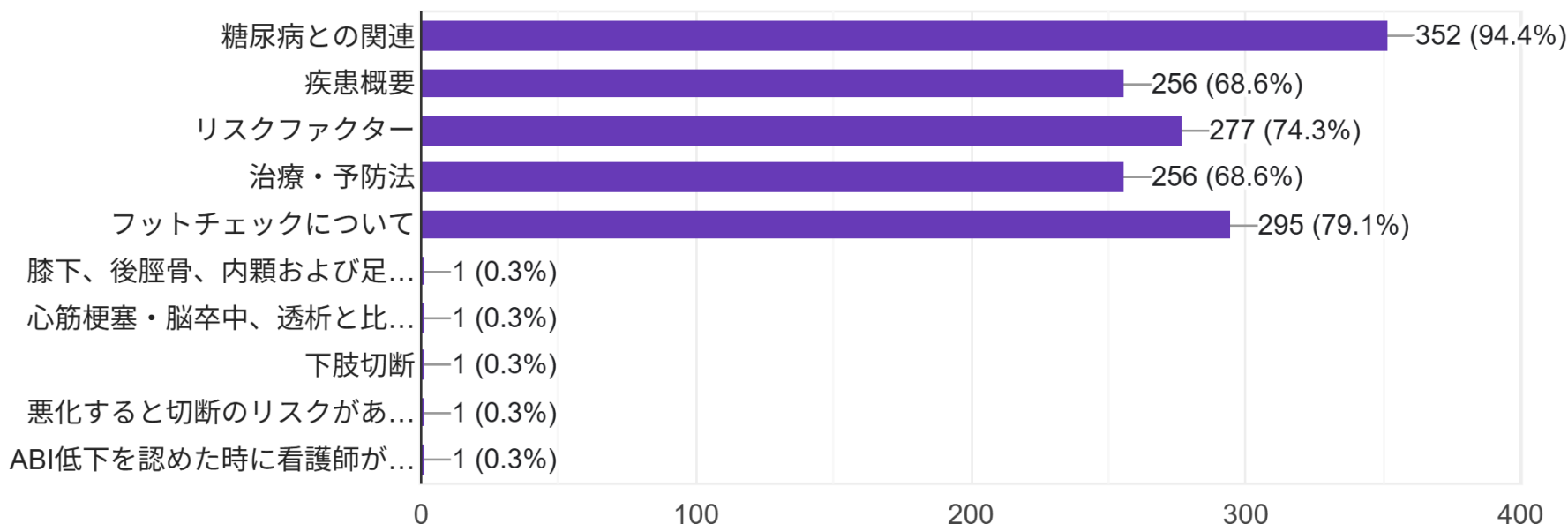
## 18. 糖尿病性足病変について説明済みの患者の割合はどのくらいですか？



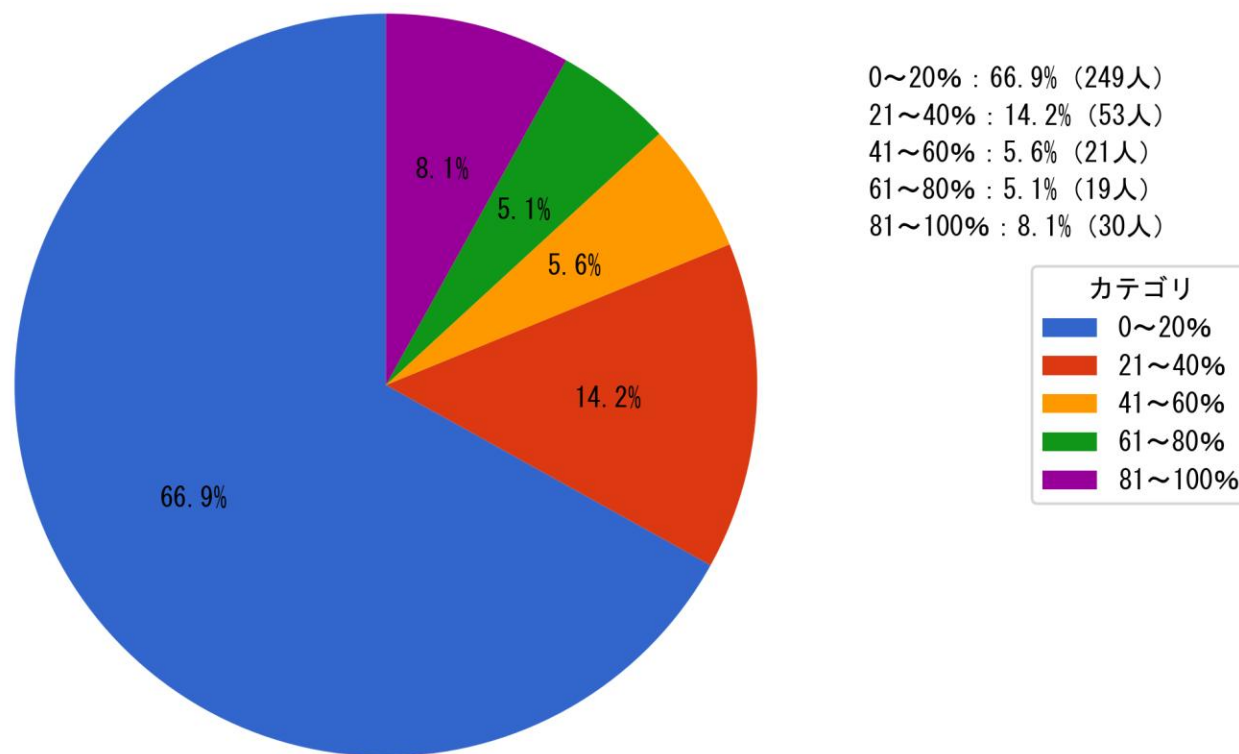
## 19. 説明するタイミングはいつですか？（複数選択可）



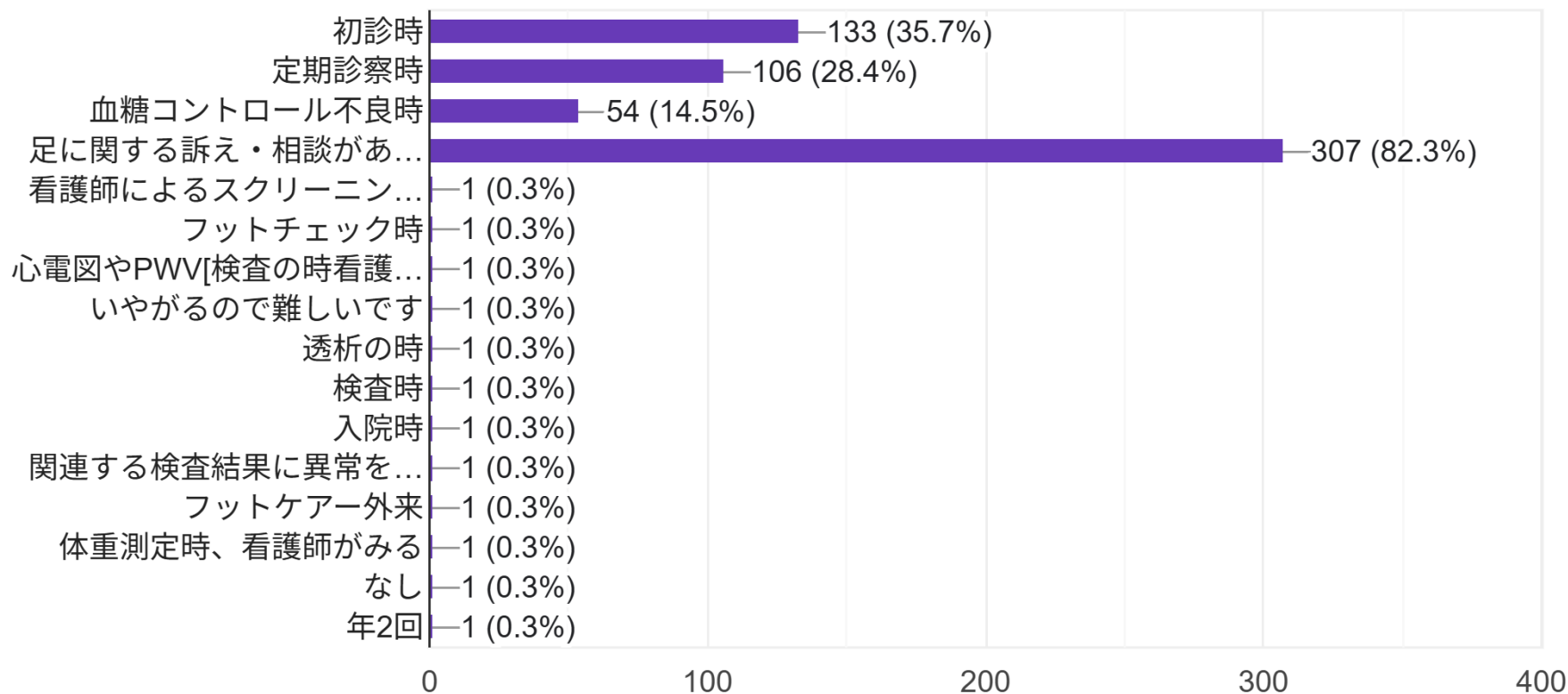
## 20. 糖尿病性足病変の説明内容を教えてください。 (複数選択可)



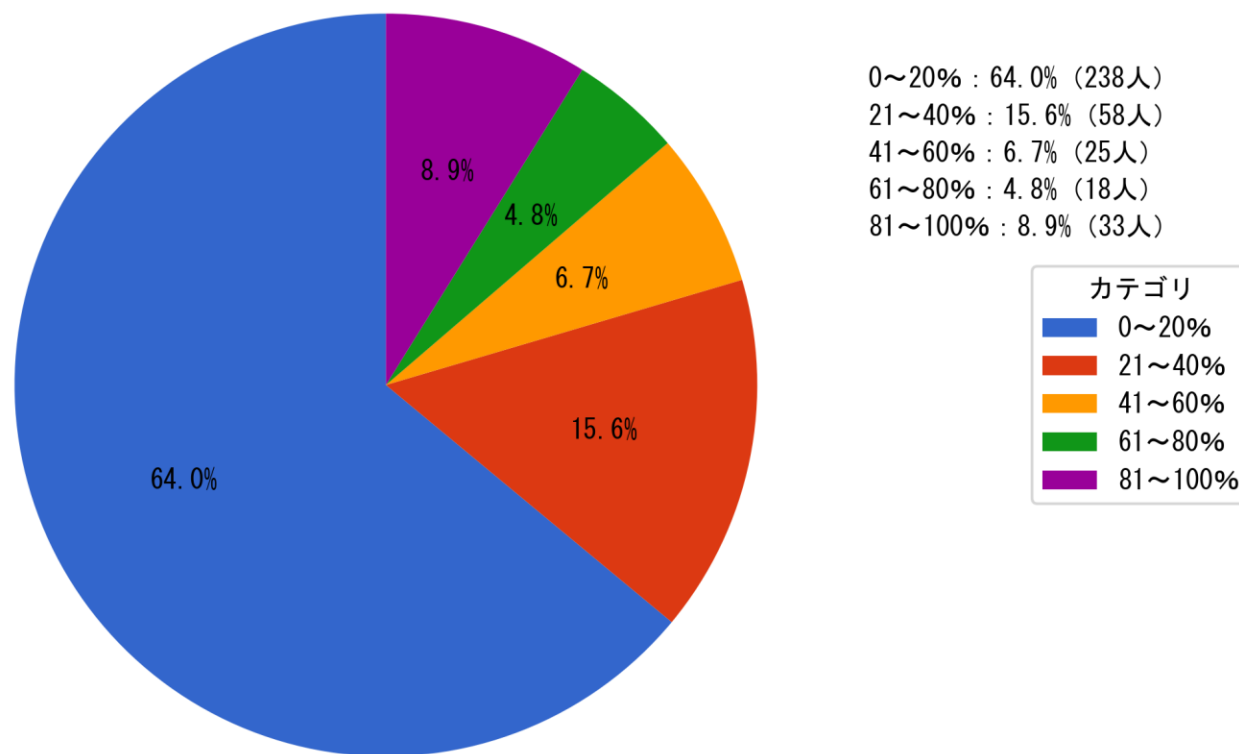
## 21. 診察室で靴下を脱がして足の観察をしている患者の割合はどのくらいですか？



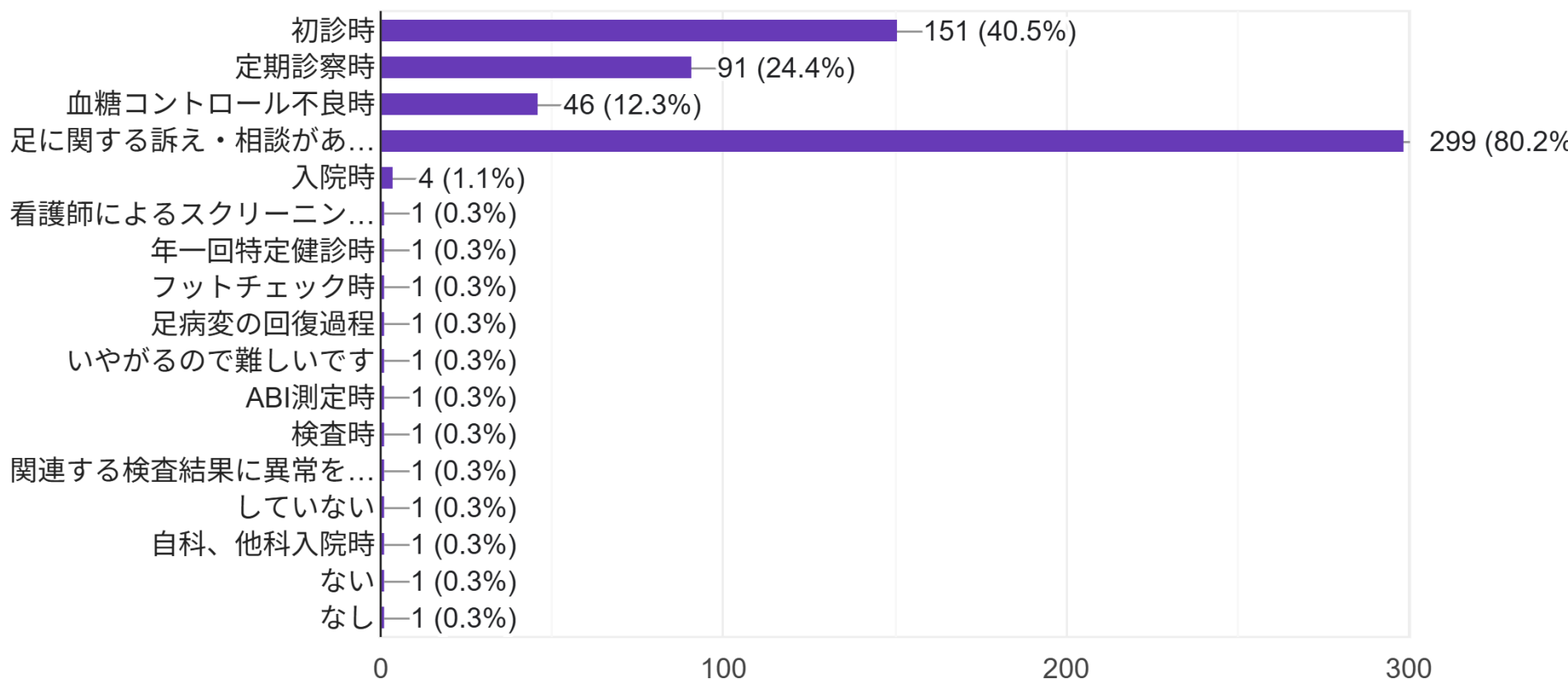
## 22. また、そのタイミングはいつですか？（複数選択可）



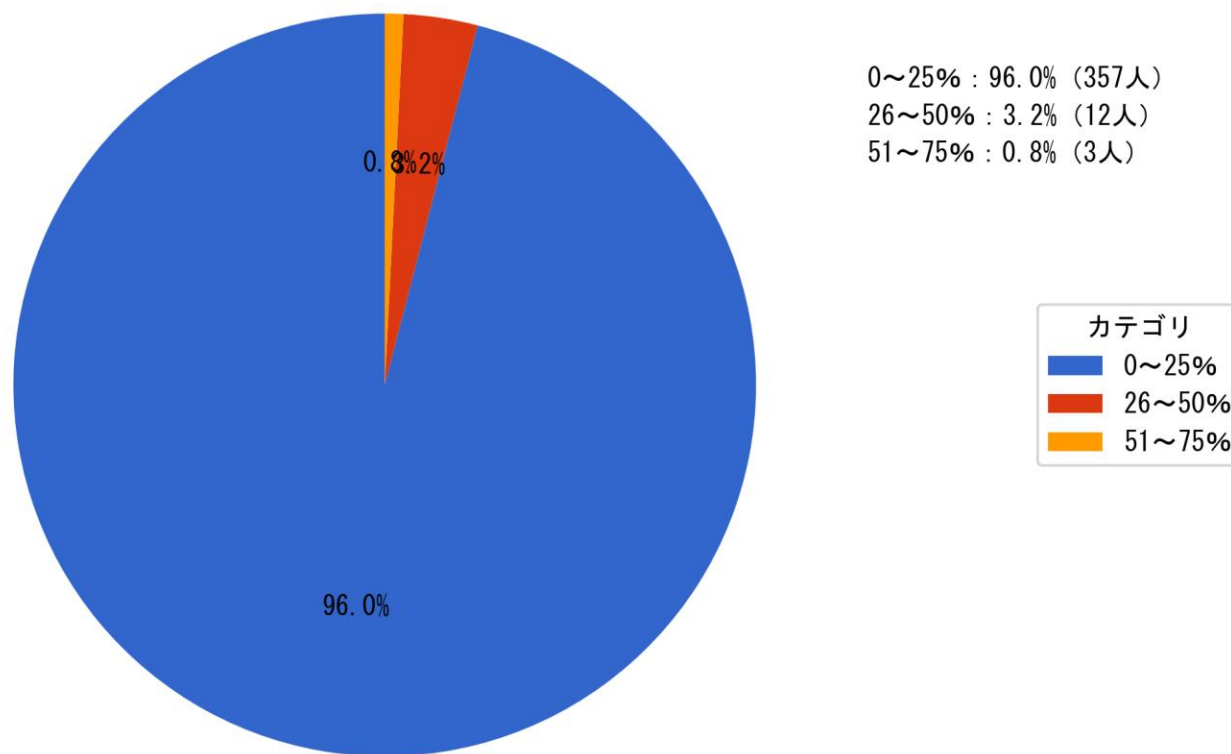
## 23. 診察室で足背動脈もしくは後脛骨動脈を触知している患者の割合はどのくらいですか？



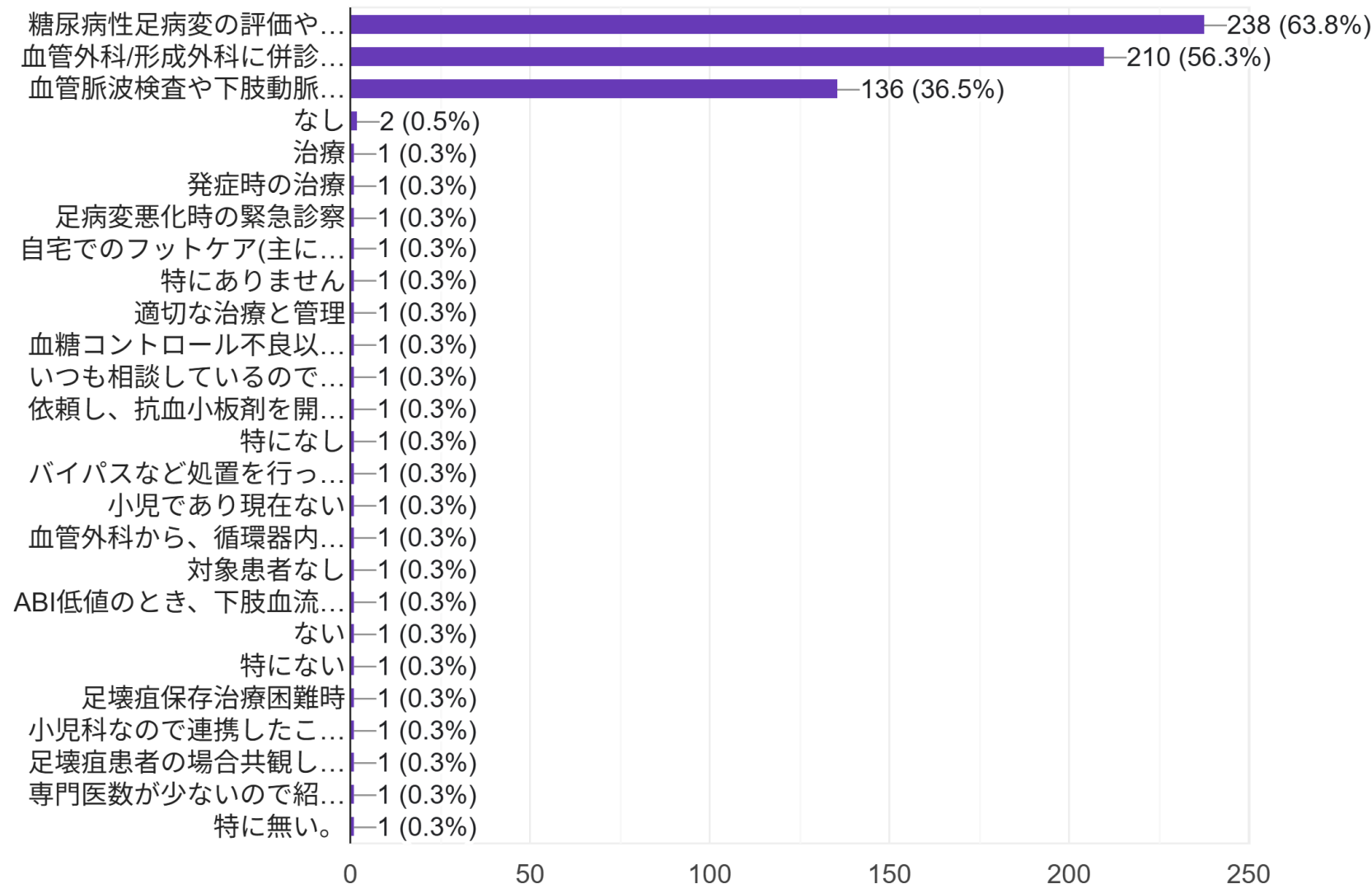
## 24. また、そのタイミングはいつですか？（複数選択可）



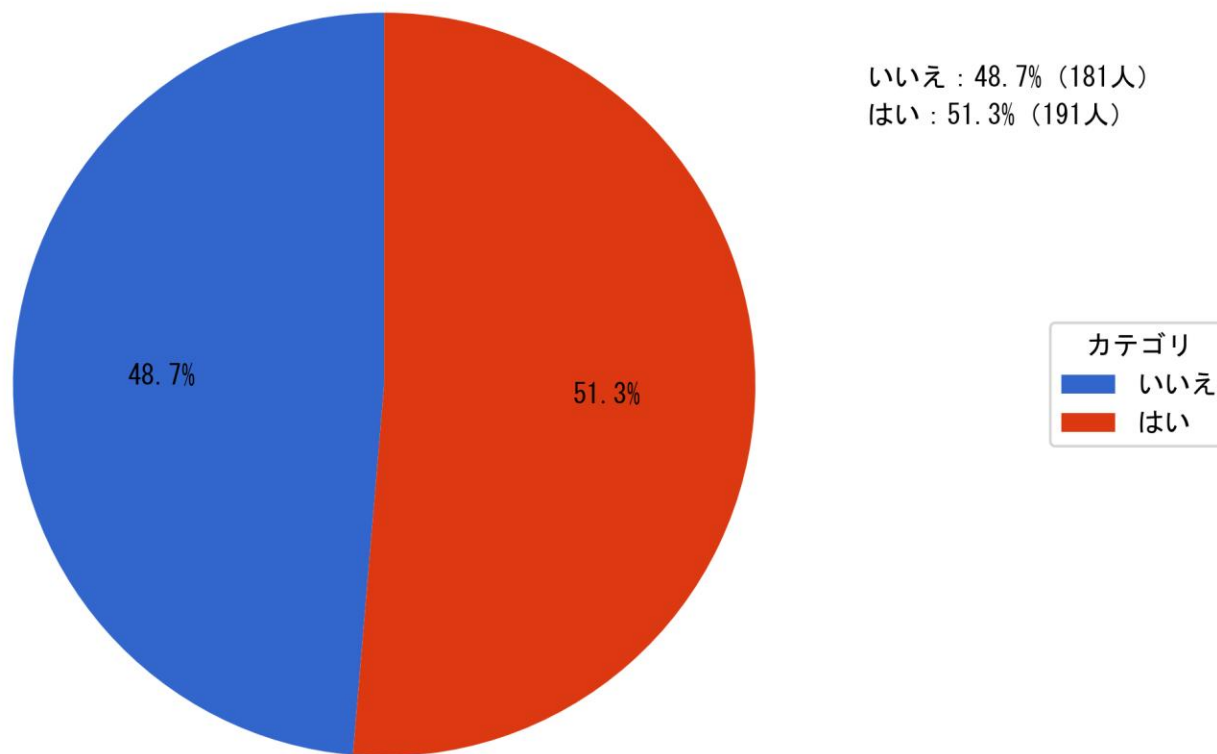
## 25. 血管外科/形成外科と併診している患者の割合はどのくらいですか？



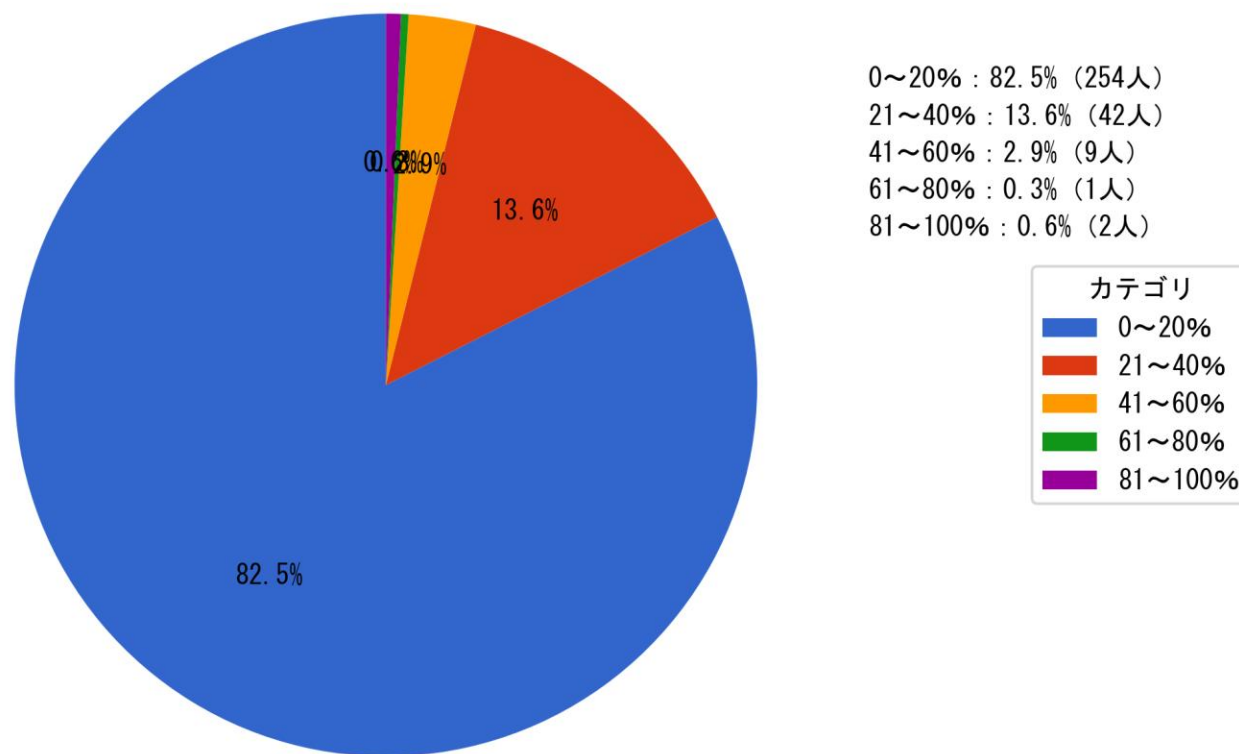
## 26. 血管外科/形成外科にお願いしたいことはありますか？（複数選択可）



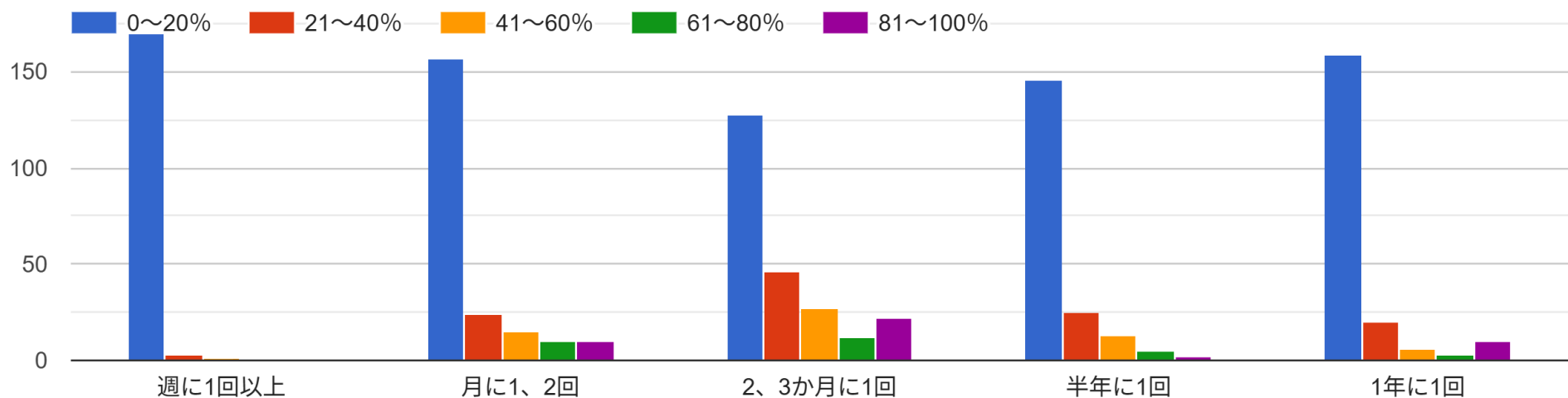
## 27. 所属機関にフットケア外来はありますか？



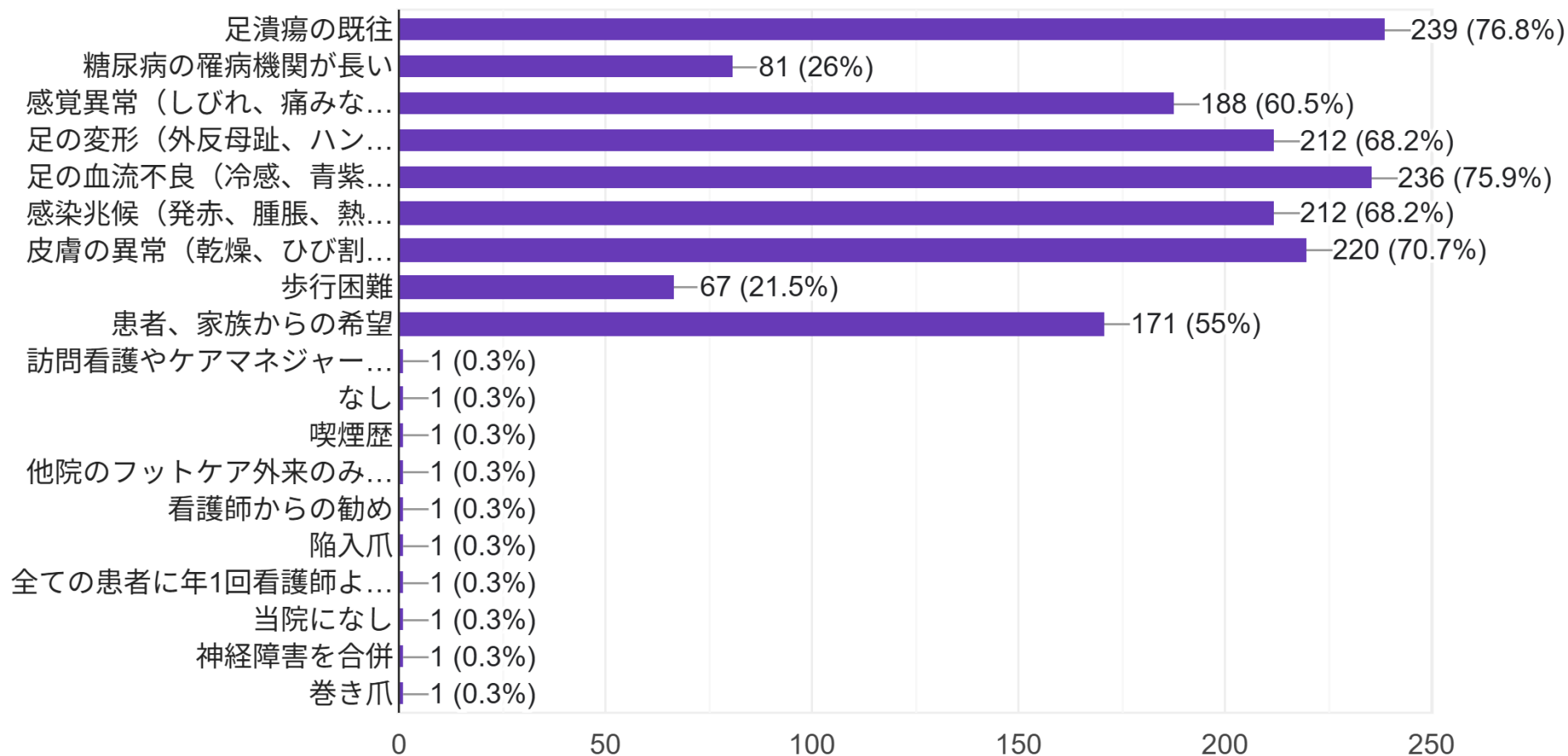
## 28. フットケア外来を受診する患者の割合はどのくらいですか？



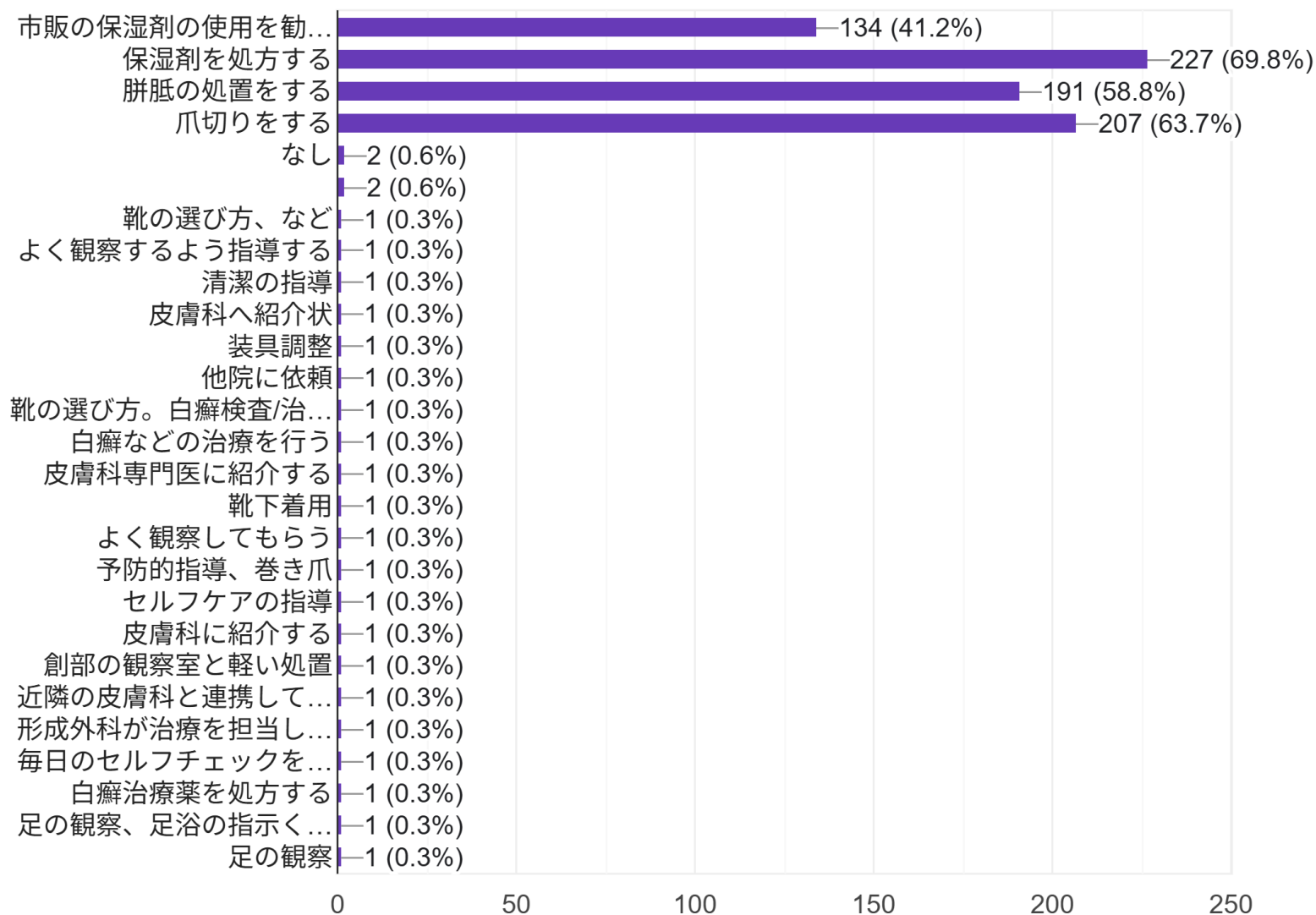
## 29. フットケア外来の受診頻度ごとの患者の割合を教えてください。



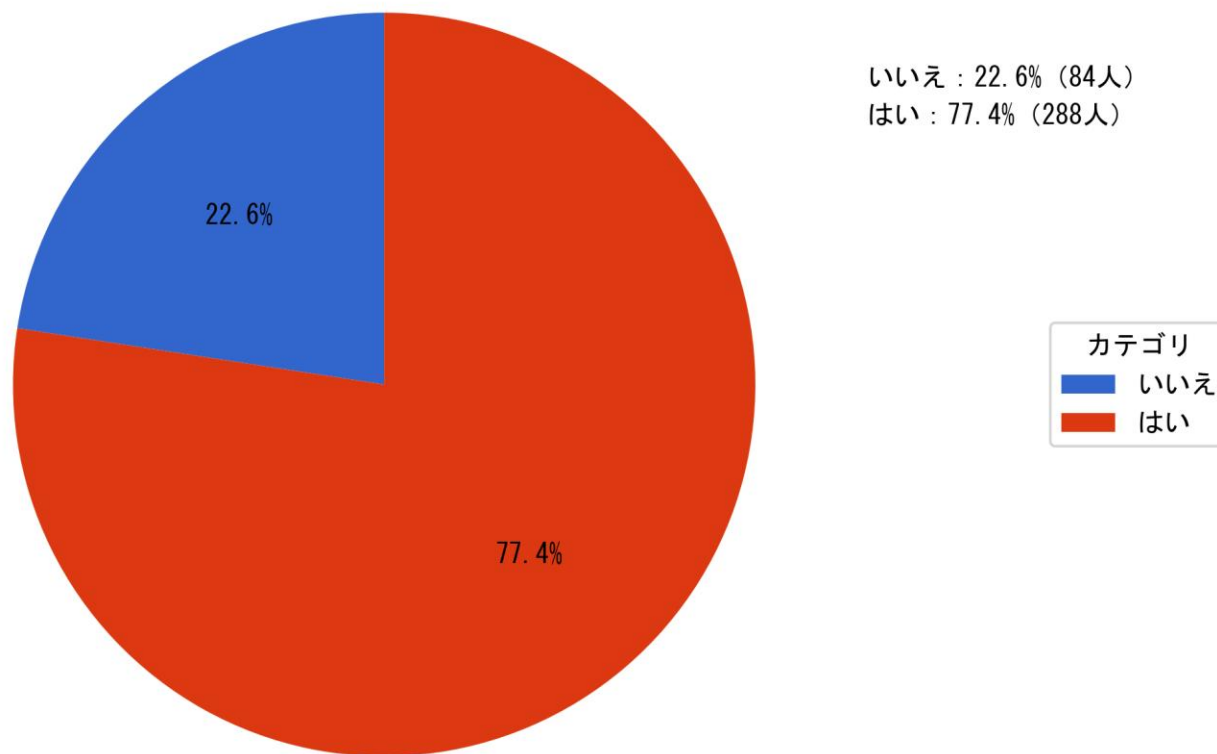
## 30. フットケア外来受診を患者に勧める基準・根拠を教えてください。（複数選択可）



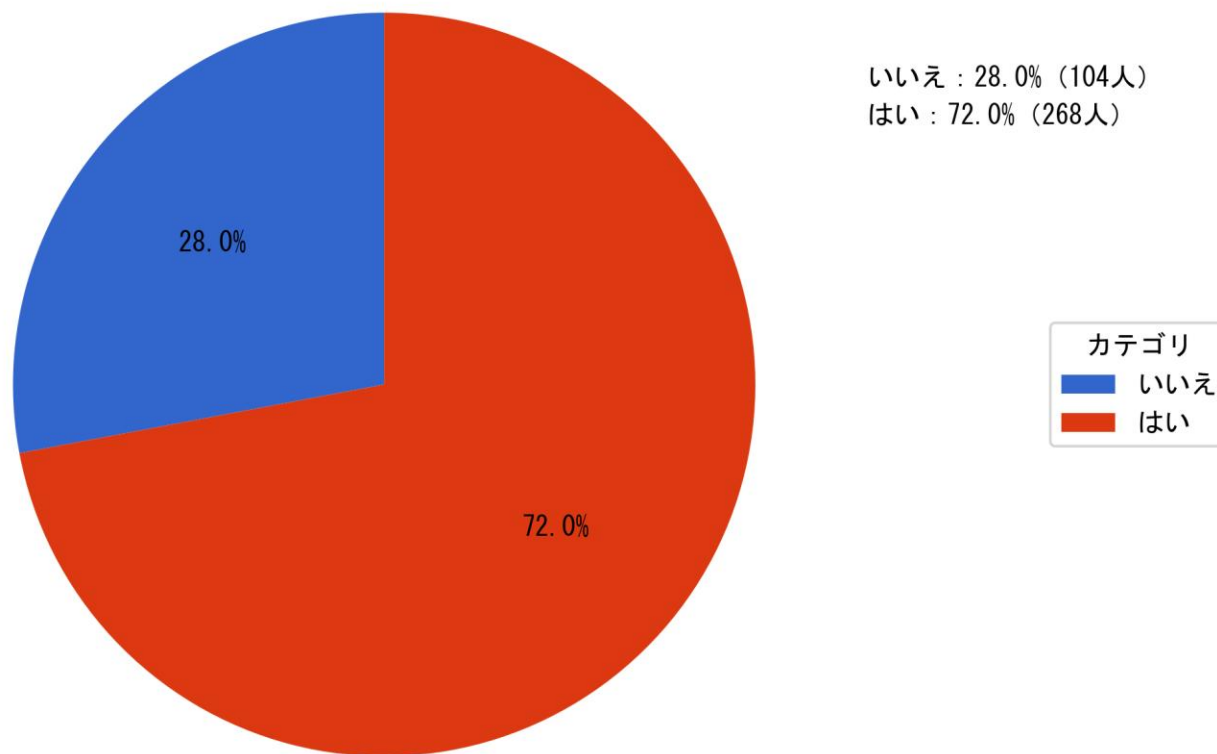
## 31. 診療におけるフットケアについてご教示ください。（複数選択可）



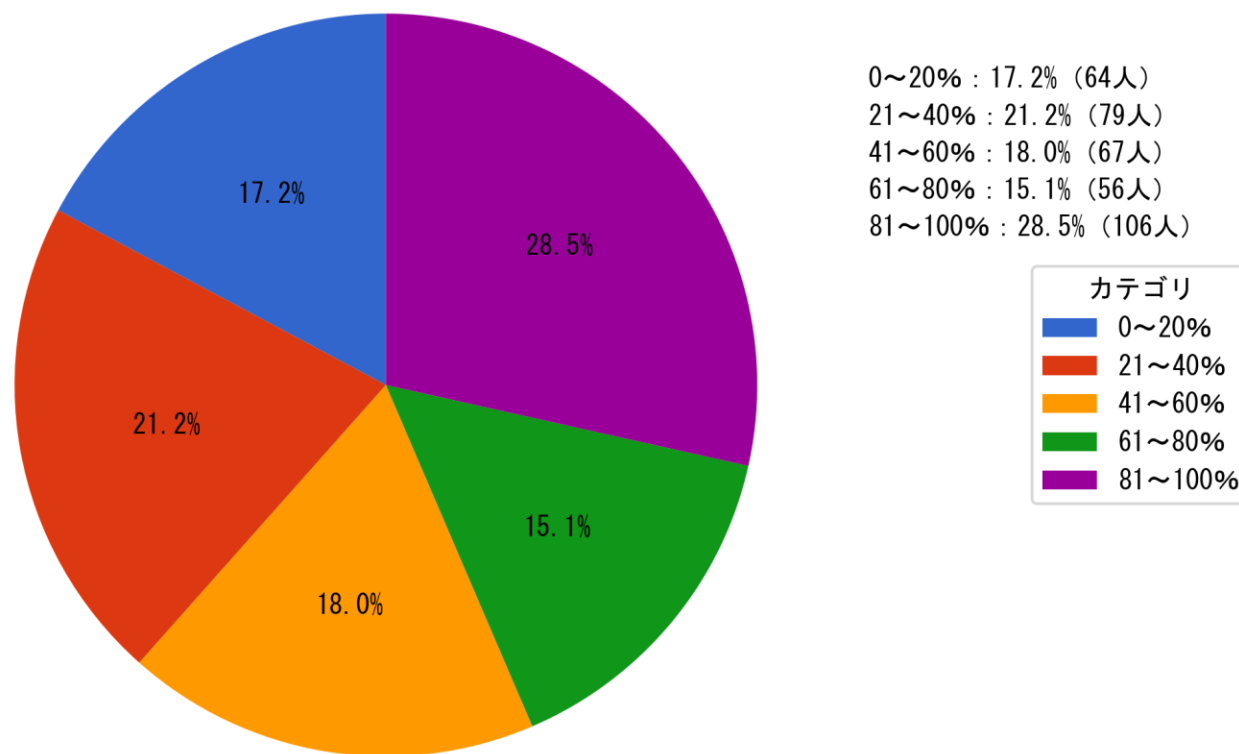
## 32. 糖尿病性神経障害を考える会の簡易診断基準を知っていますか？



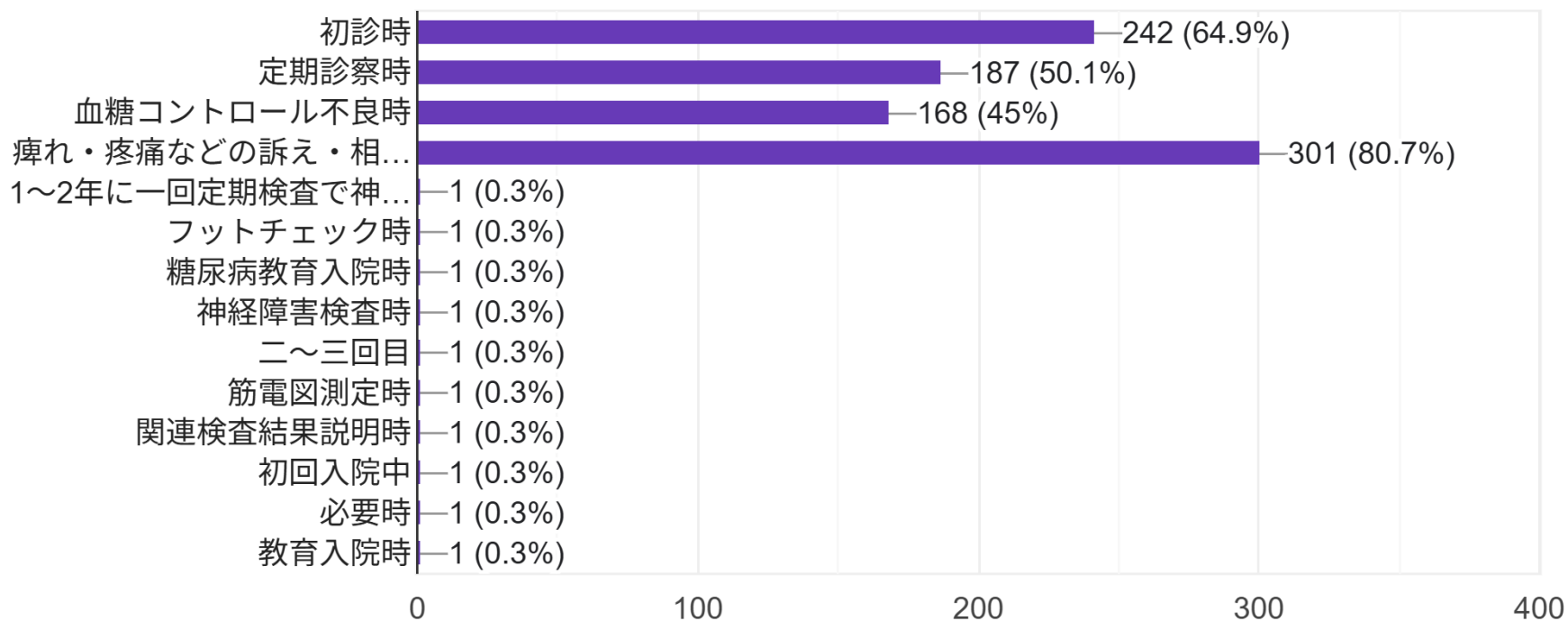
### 33. 糖尿病性神経障害の臨床病期分類を知っていますか？



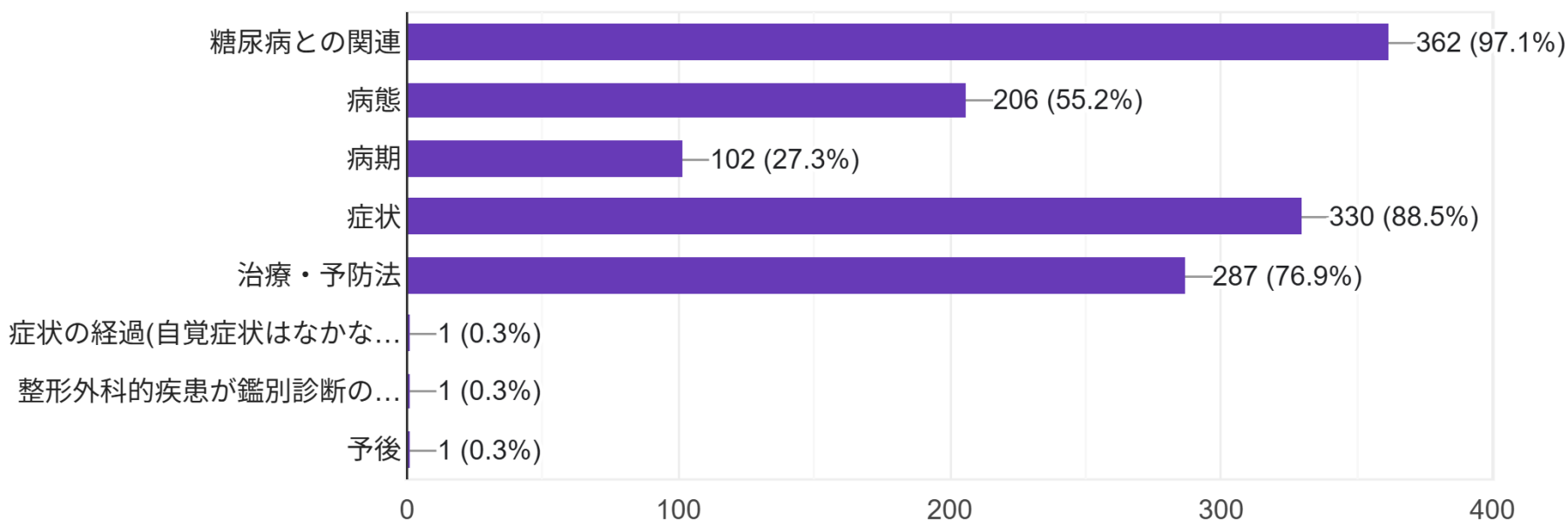
### 34. 糖尿病性神経障害について説明済みの患者の割合はどのくらいですか？



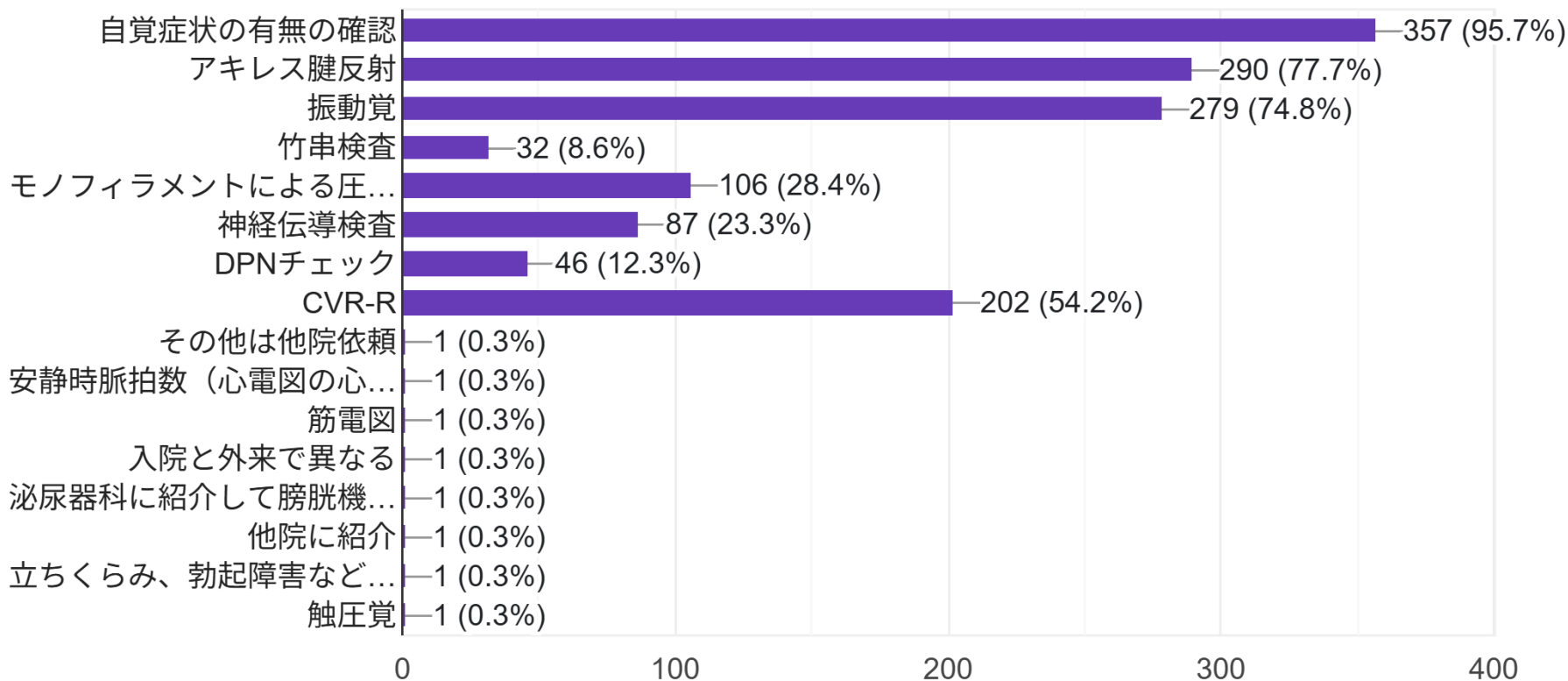
## 35. 説明するタイミングはいつですか？（複数選択可）



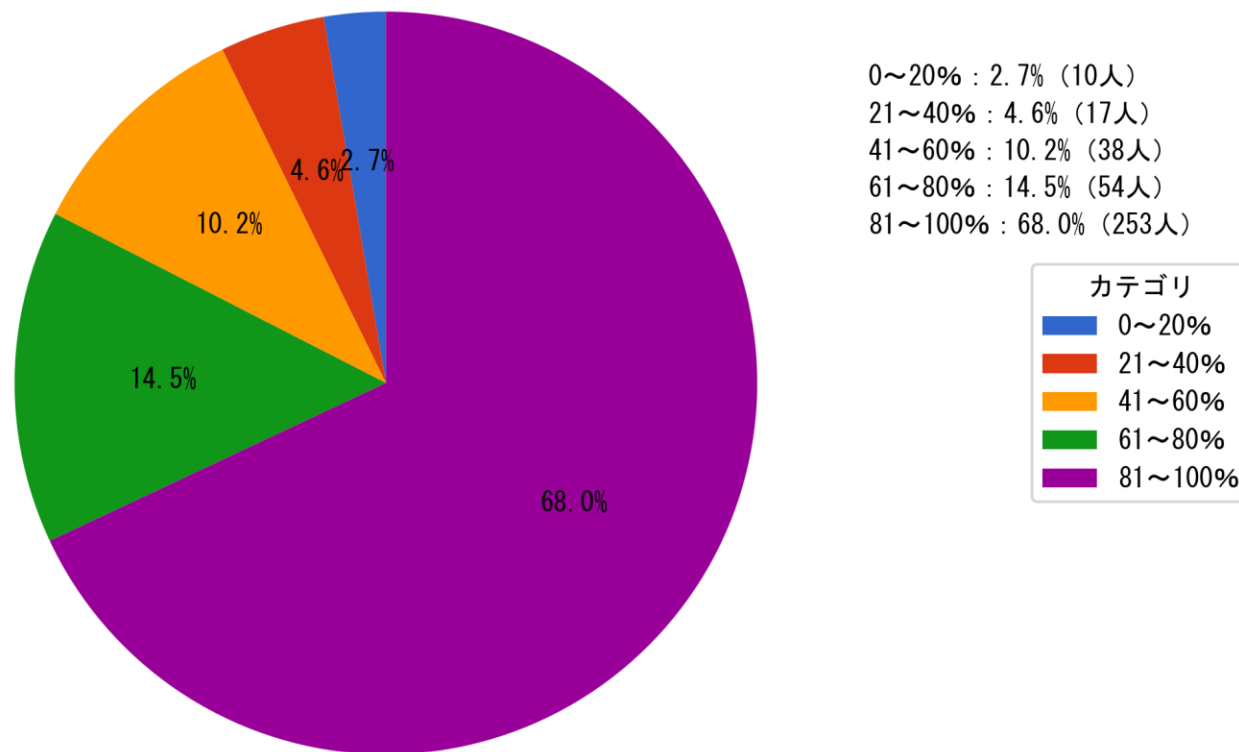
### 36. 糖尿病性神経障害の説明内容を教えてください。 。（複数選択可）



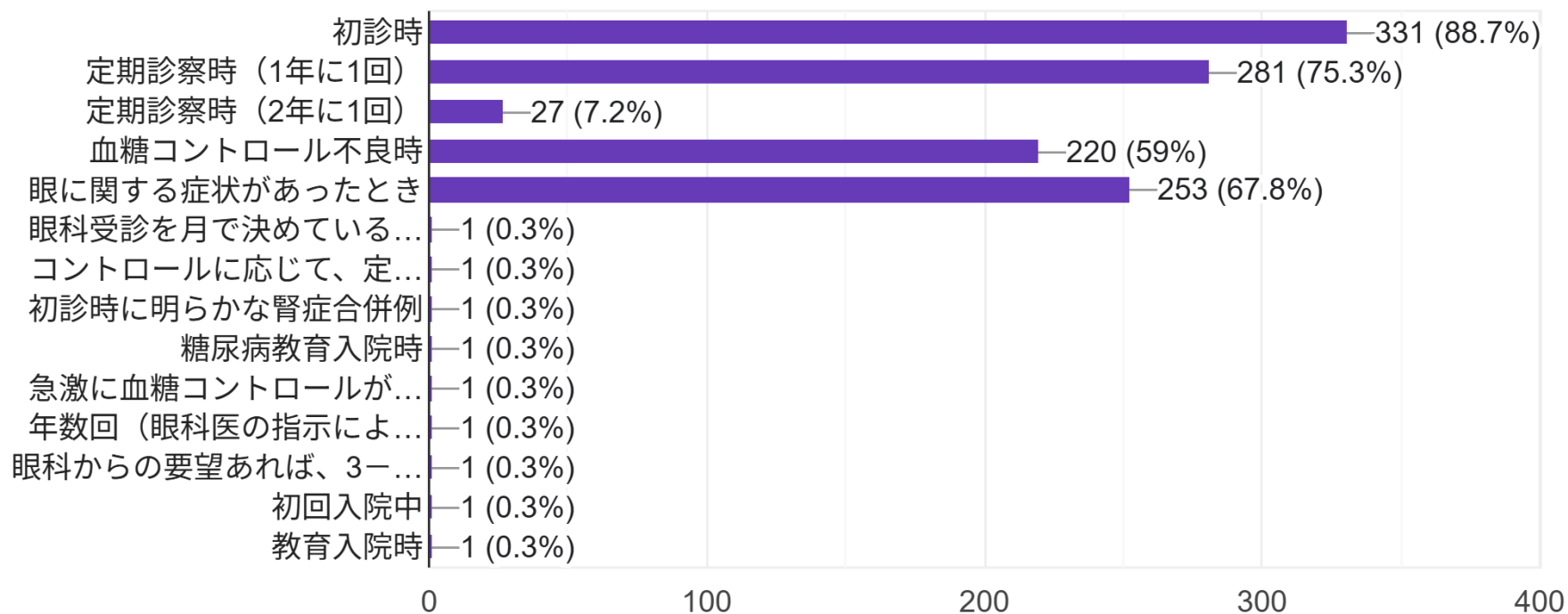
### 37. 神経障害のスクリーニング・評価として実施している診察・検査を選んでください。(複数選択可)



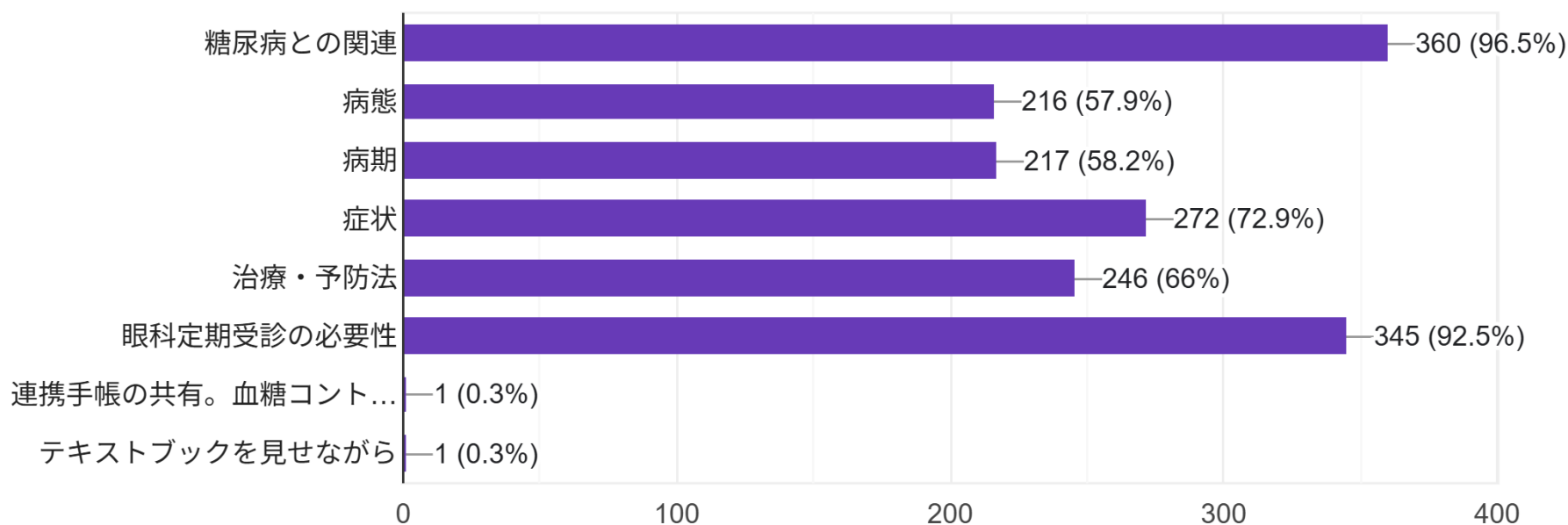
### 38. 糖尿病網膜症について説明済みの患者の割合はどのくらいですか？



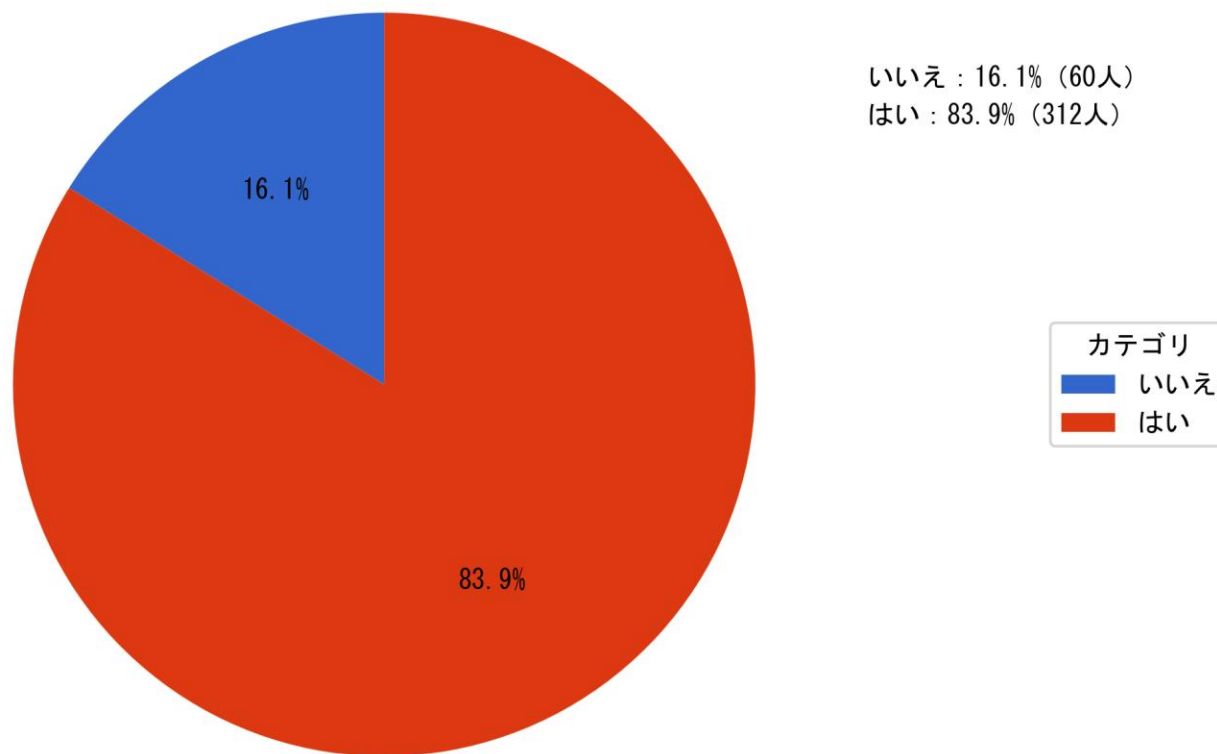
### 39. 説明するタイミングはいつですか？（複数選択可）



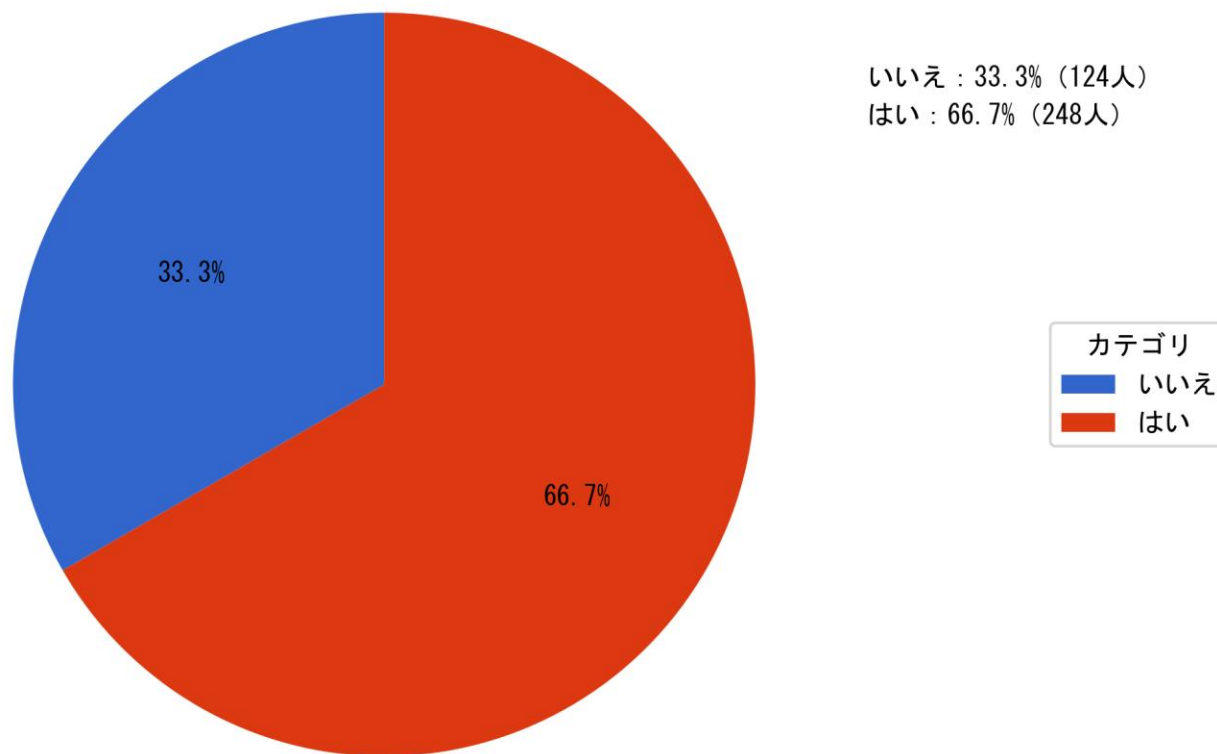
## 40. 糖尿病網膜症の説明内容を教えてください。 (複数選択可)



## 41. 糖尿病連携手帳の眼科記載ページを活用していますか？

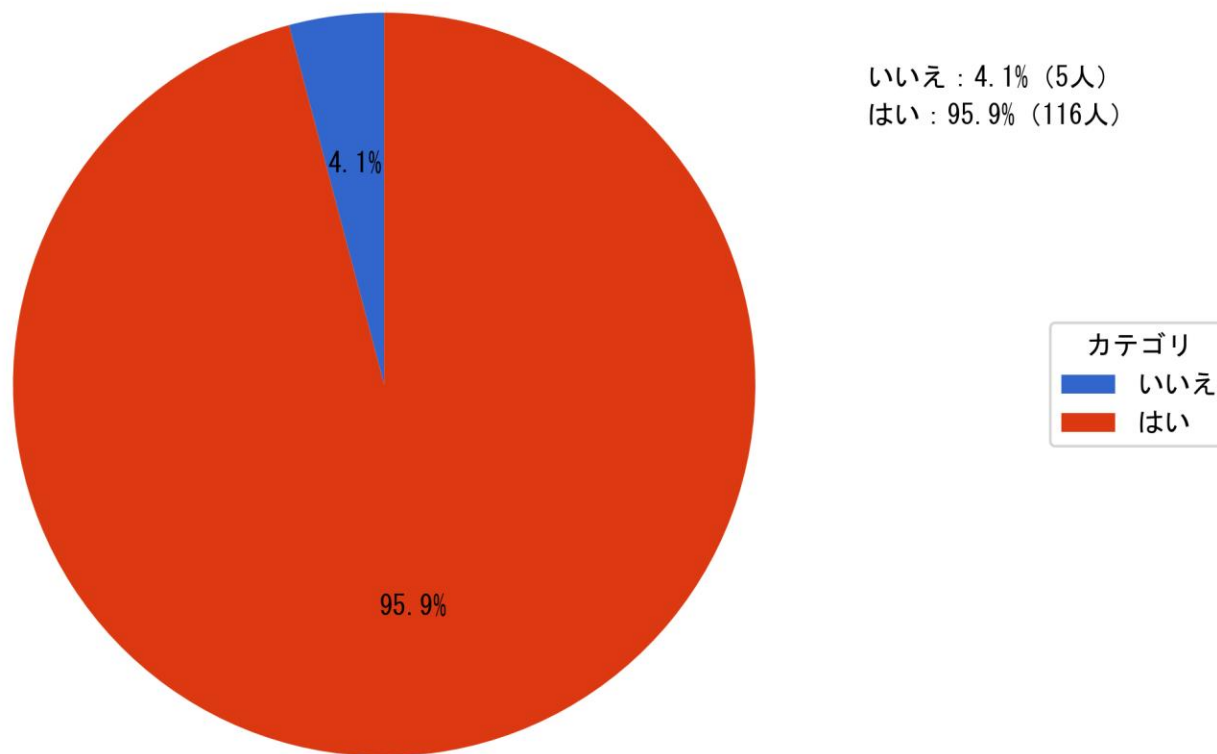


## 42. 糖尿病眼手帳を活用していますか？

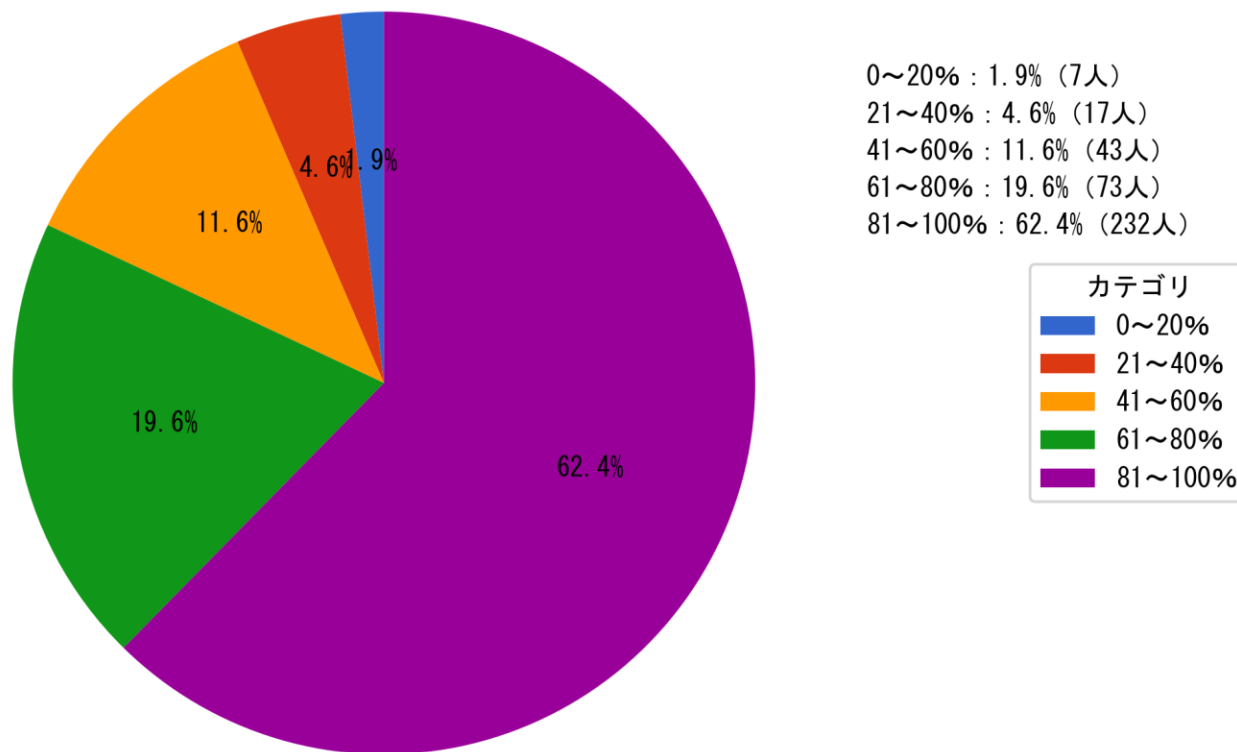


### 43. いずれも活用していない方：患者の網膜症の状態、眼科の受診状況を把握しカルテに記載していますか？

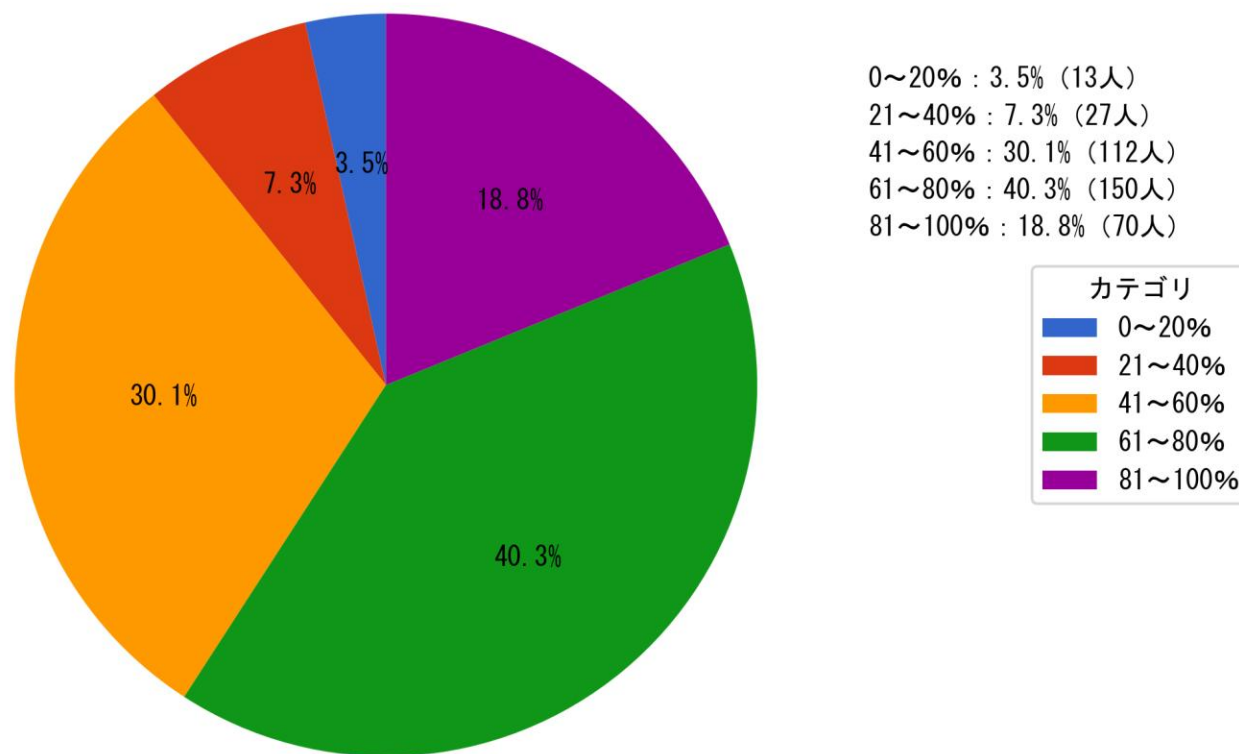
回答数:122件



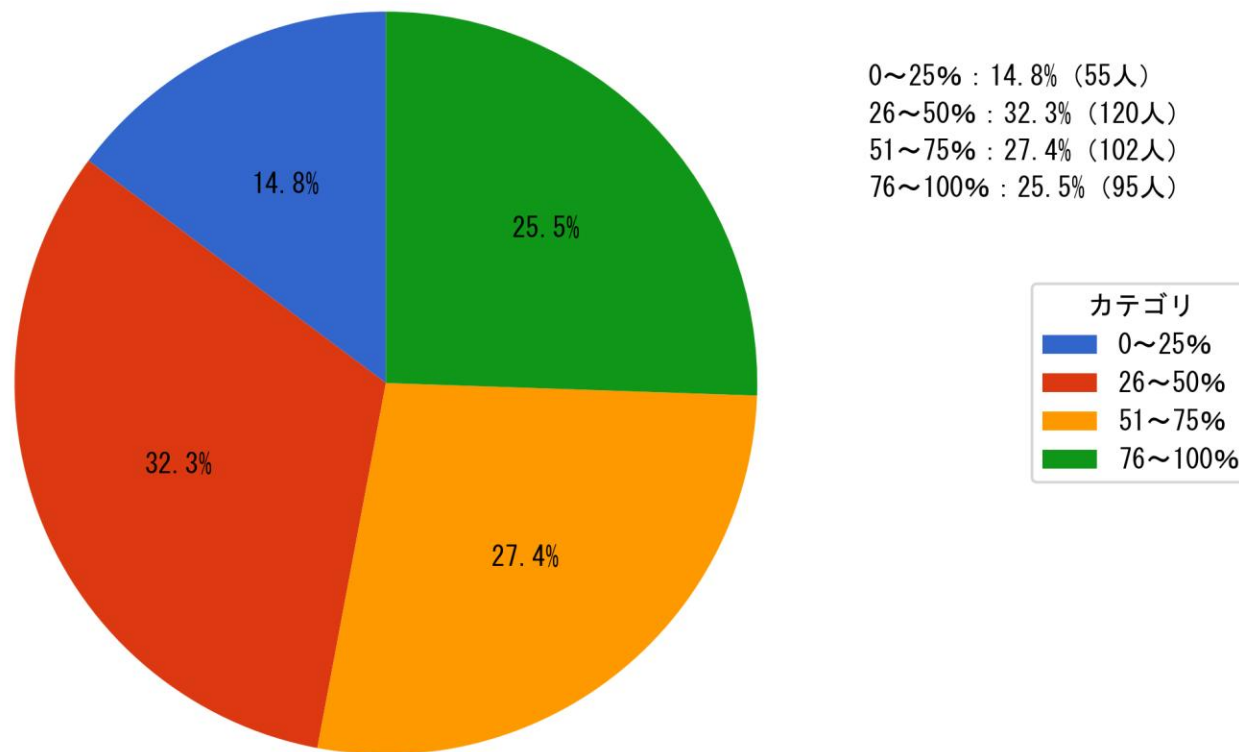
## 44. 眼科受診を促している患者の割合はどのくらいですか？



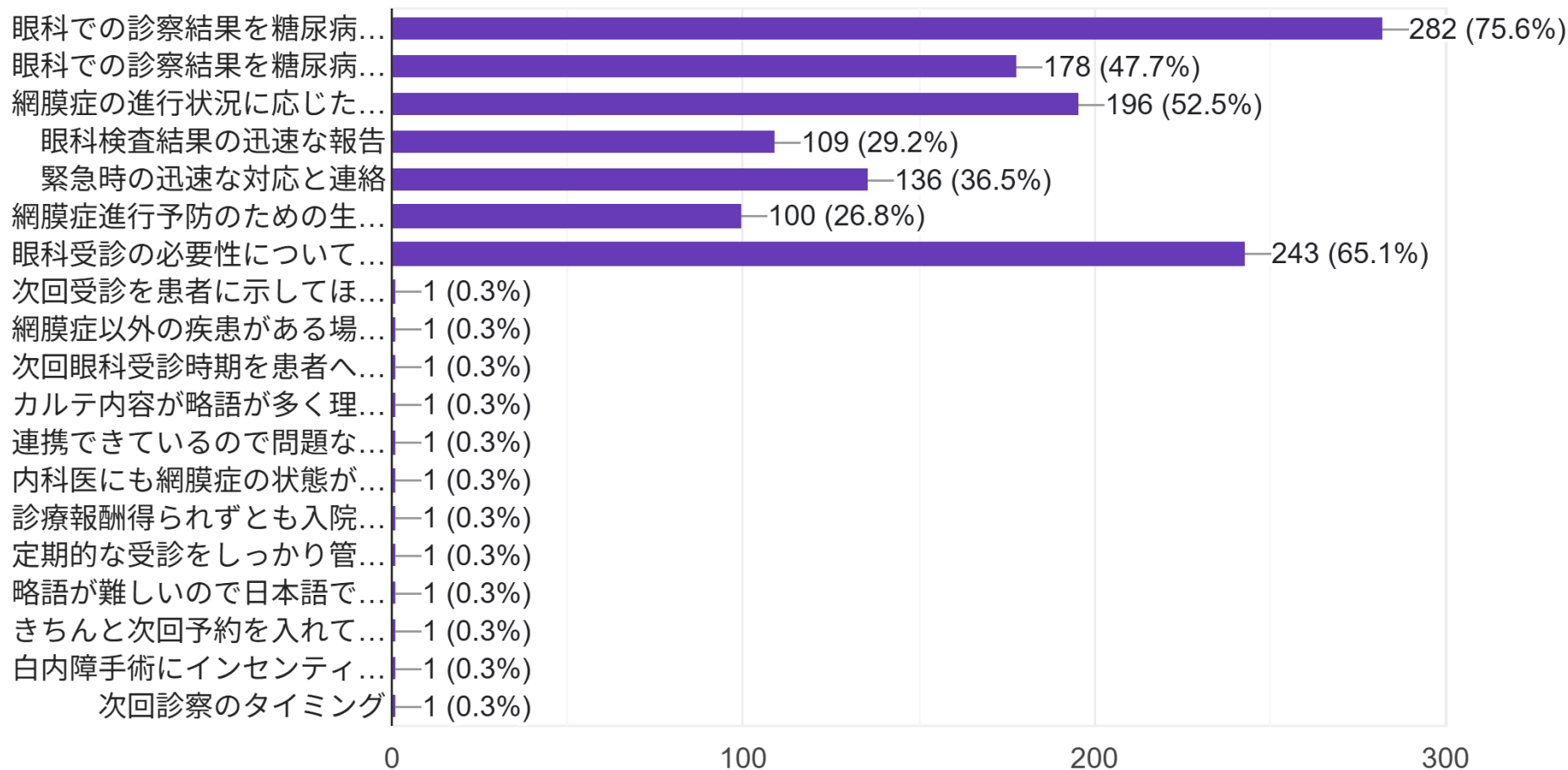
## 45. 受診を促した患者のうち実際に眼科を受診している患者の割合はどのくらいですか？



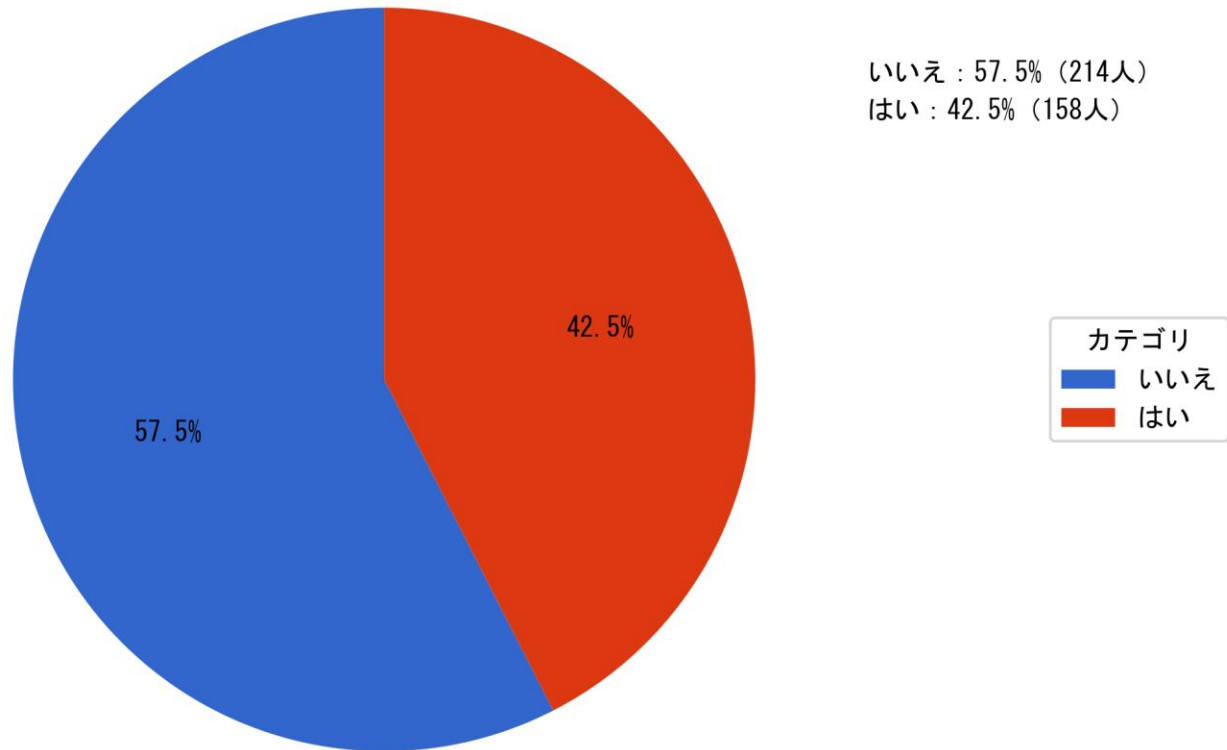
## 46. 眼科と併診している患者の割合はどのくらいですか？



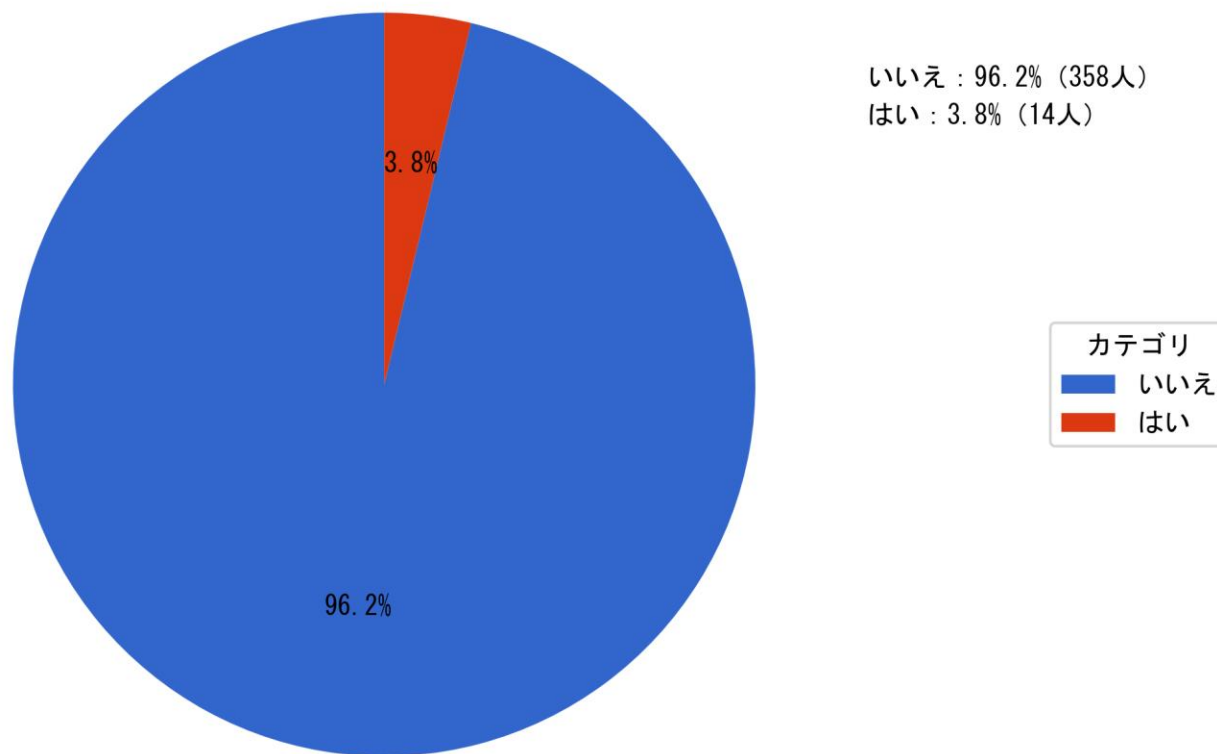
## 47. 眼科医にお願いしたいことはありますか？ (複数選択可)



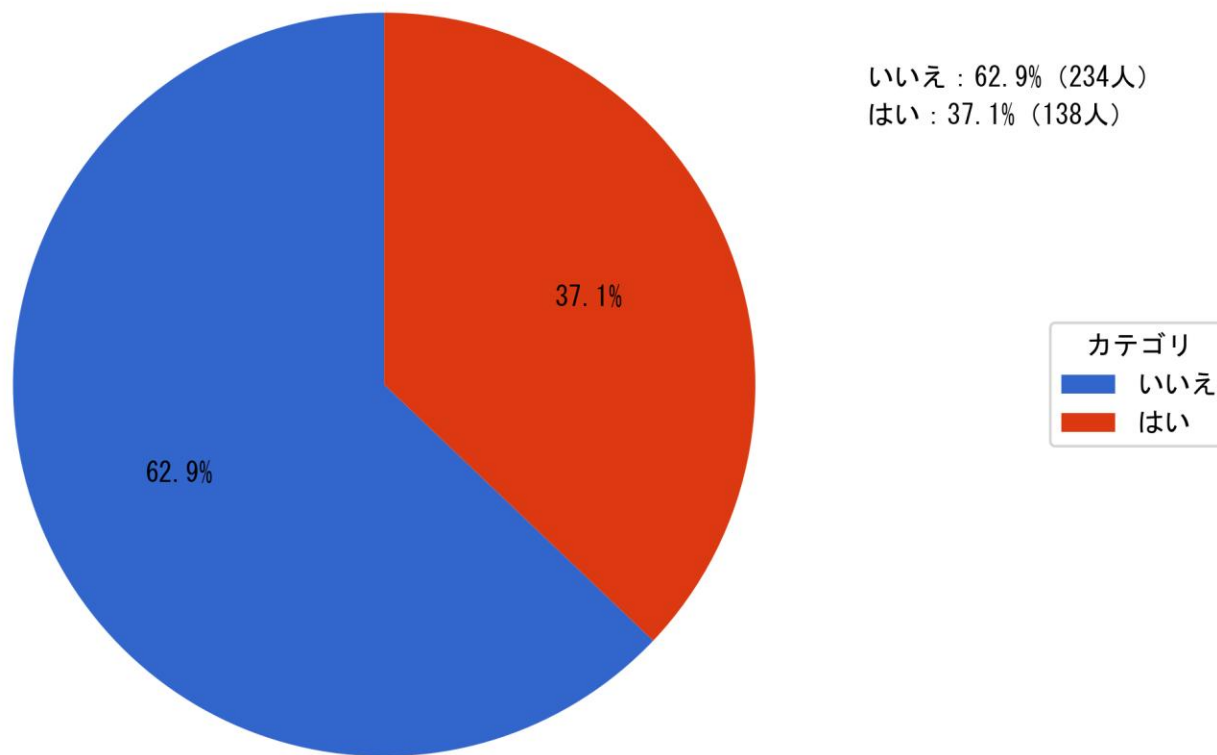
## 48. AIを用いた眼底カメラや眼底観察装置を知っていますか？



## 49. AIを用いた眼底カメラや眼底観察装置を使ったことがありますか？



## 50. AIを用いた眼底カメラや眼底観察装置をご自身の内科診療で使いたいと思いますか？



## 51. また、その理由を教えてください。

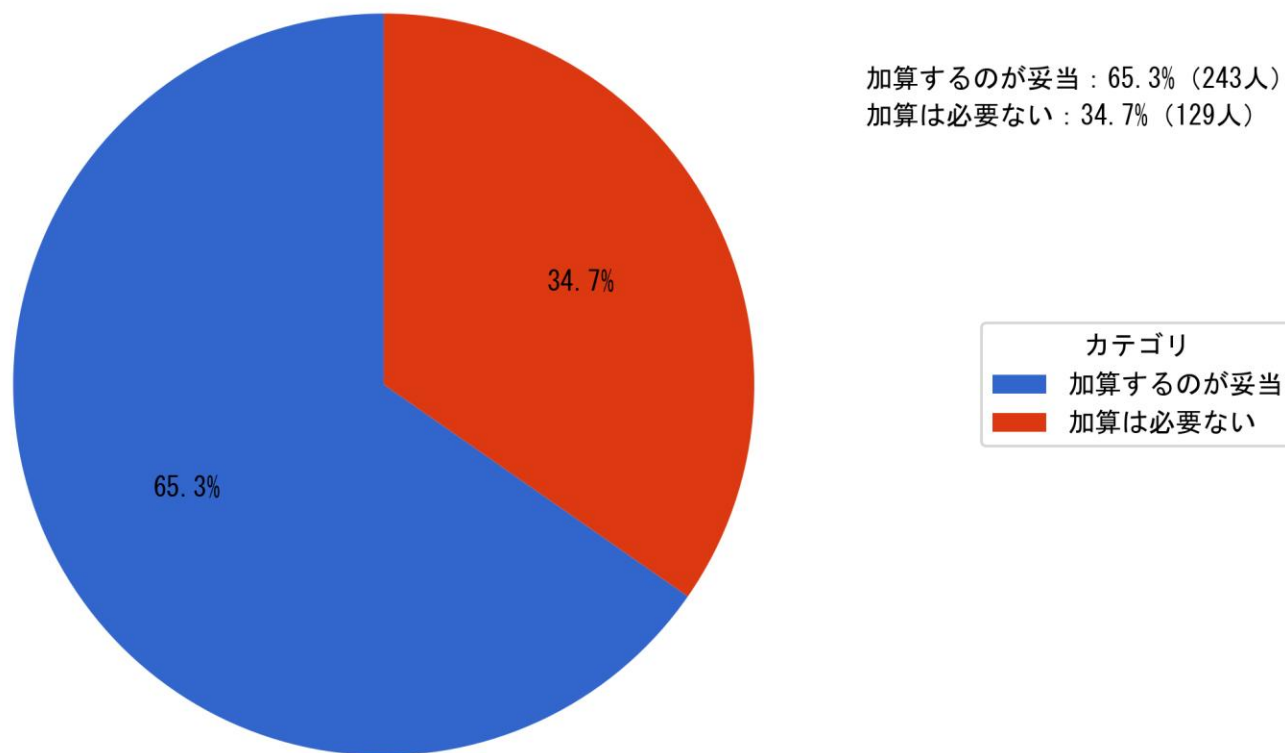
はい：

- ・ 利便性、即時性
- ・ 眼科受診してくれない患者に活用できる
- ・ スクリーニング、早期診断に有用だと思う
- ・ 患者、眼科医の負担軽減につながる など

いいえ：

- ・ AIに対する不安、知識不足
- ・ 専門外、詳細をよく知らない
- ・ コスト（金銭的、人的、時間的）
- ・ 使いこなせる自信がない
- ・ 専門である眼科にお任せしたい など

52.現在、AIを用いた眼底カメラや眼底観察装置を使うとした場合の保険点数は眼底写真撮影に準じてD256眼底カメラ撮影 ロ デジタル撮影(保険点数 58点)です。AIを用いることによって別で加算をとるべきとお考えですか？



53. また、その理由と、加算するのが妥当とお答えの場合、何点が妥当とお考えですか？

加算は妥当：

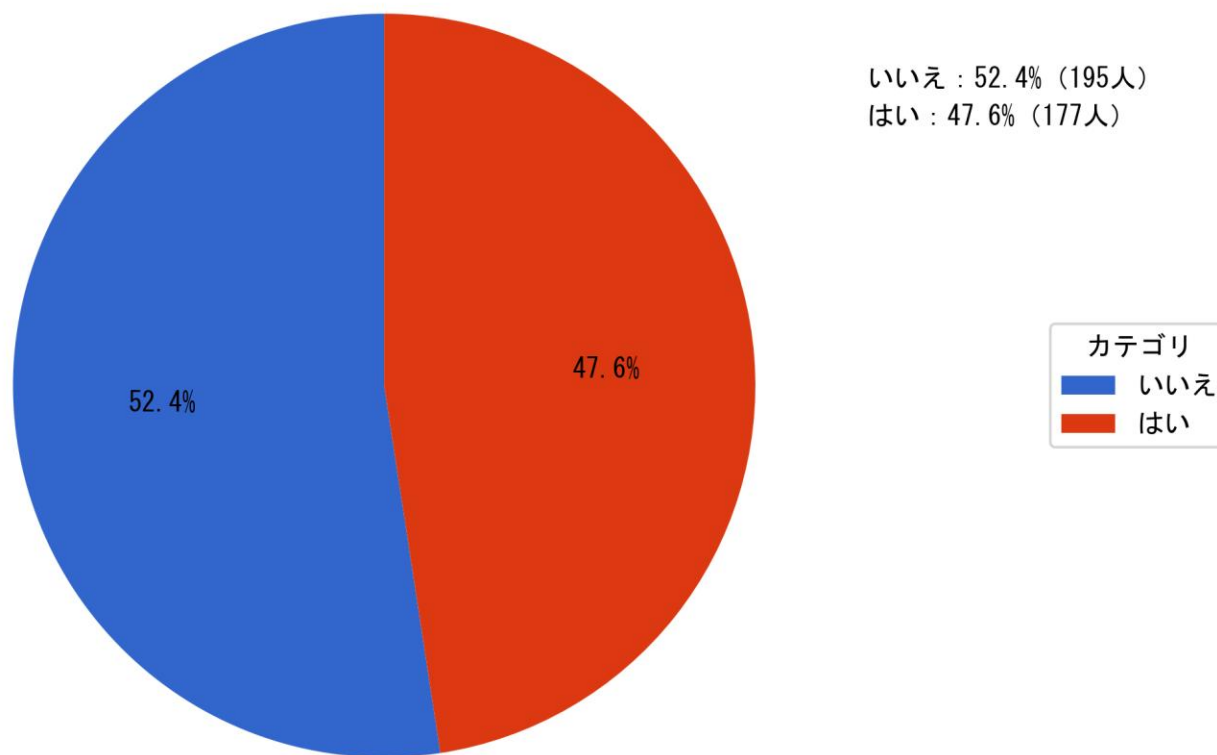
- ・ 高度な検査だから
- ・ コストがかかるから                      など

50～700点

必要ない：

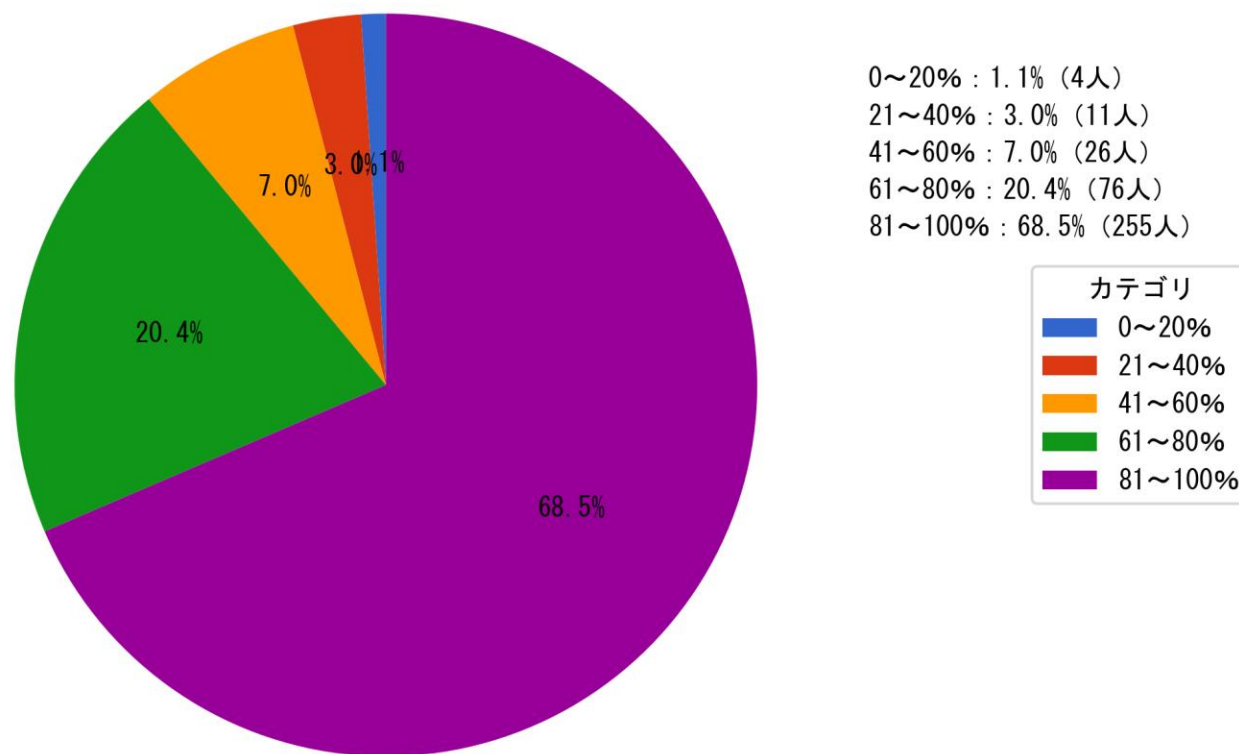
- ・ エビデンス、信頼性に欠けるから
- ・ 同じ眼底検査なので追加の必要はない
- ・ 眼科医の専門性を軽視することになる
- ・ 患者負担が増える                      など

54.もし上記のようなAI加算が導入された場合は、AIを用いた眼底カメラや眼底観察装置をご自身の内科診療で使いたいと思いますか？

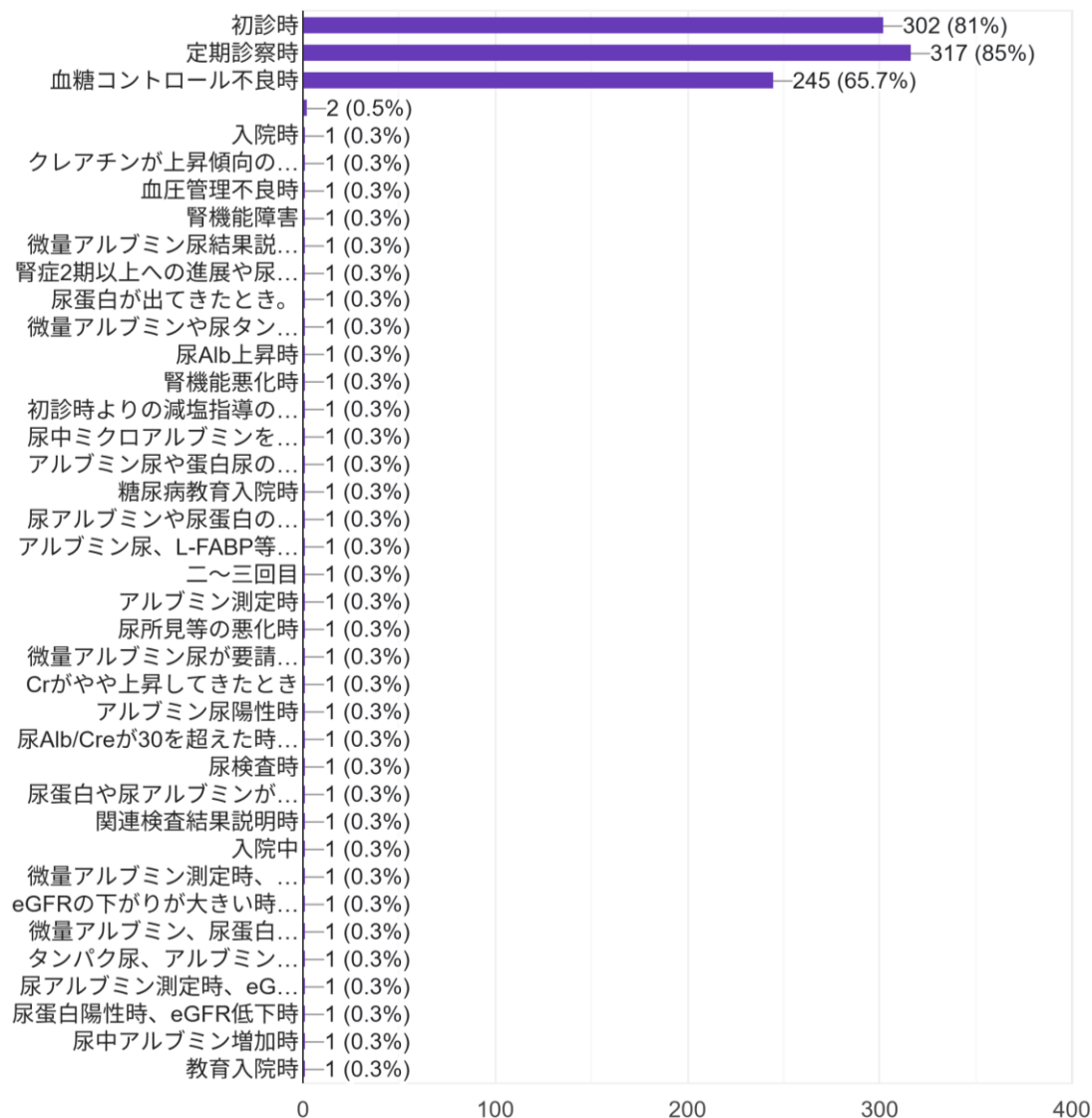


55. また、その理由を教えてください。

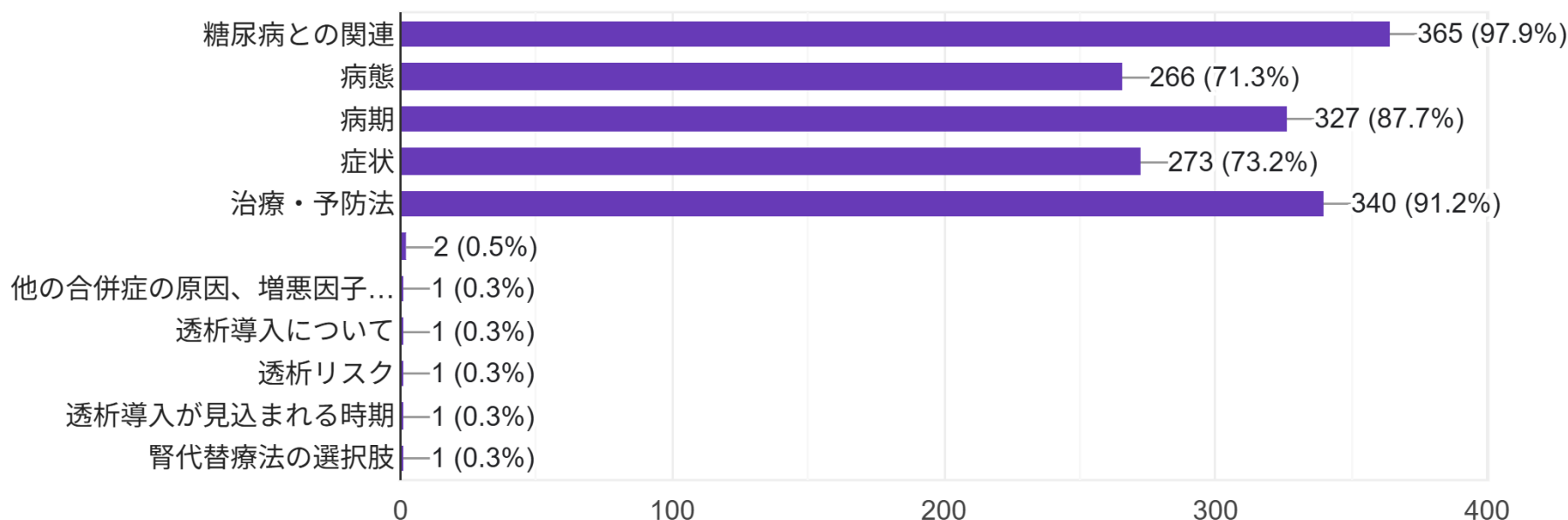
## 56. 糖尿病性腎症について説明済みの患者の割合はどのくらいですか？



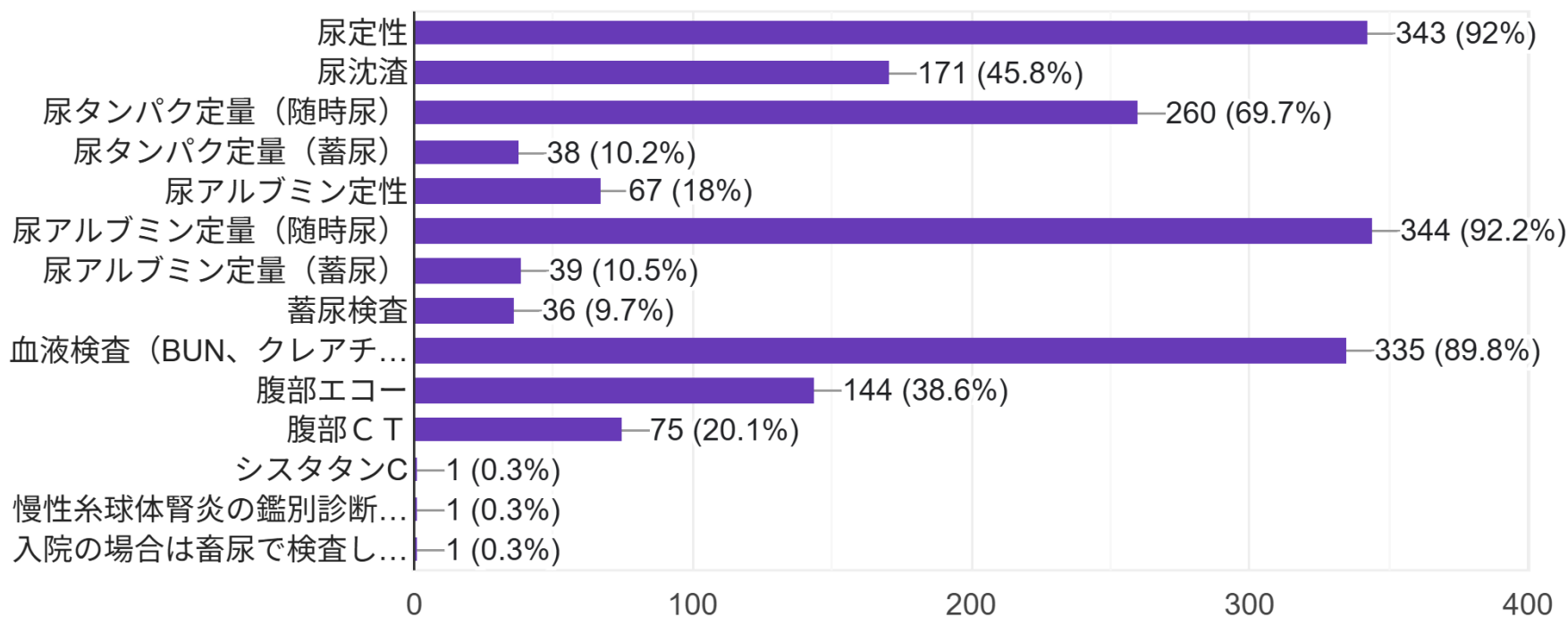
## 57. 説明するタイミングはいつですか？（複数選択可）



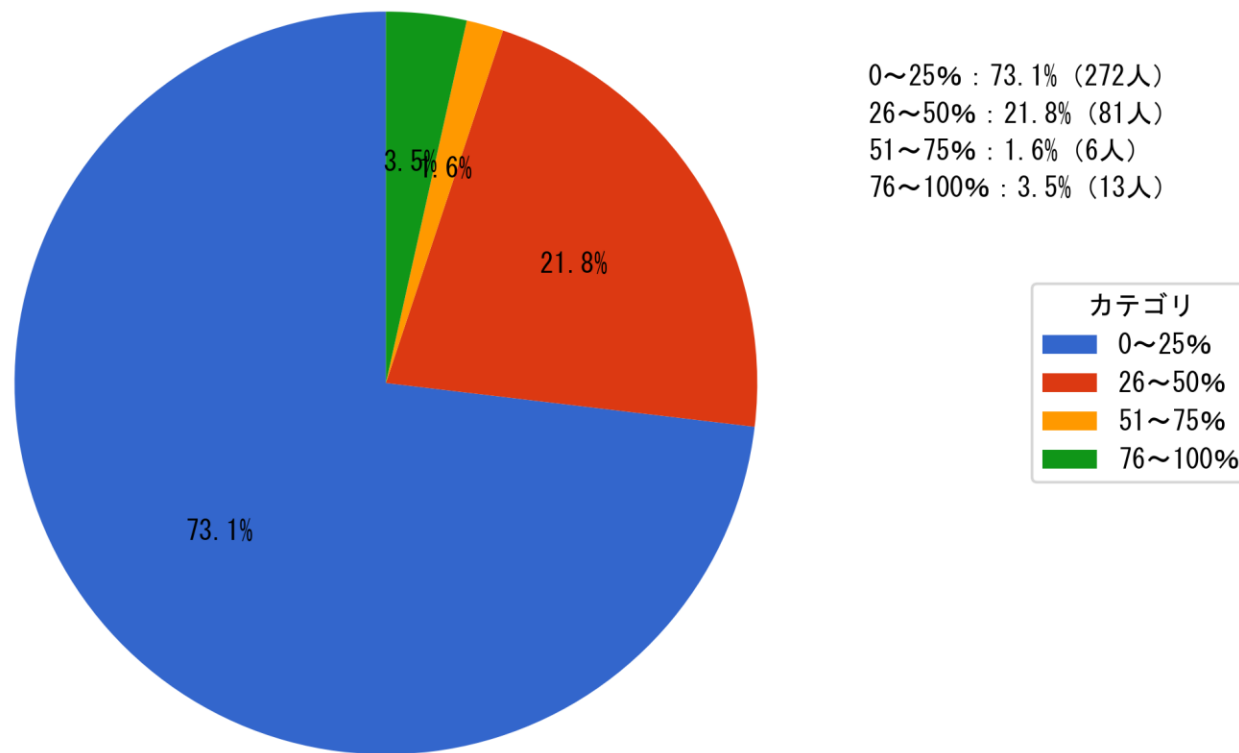
## 58. 糖尿病性腎症の説明内容を教えてください。 (複数選択可)



## 59. 腎症のスクリーニング・評価として実施している検査を選んでください。（複数選択可）



## 60. 腎臓内科と併診している患者の割合はどのくらいですか？



## 61. 腎臓内科医にお願いしたいことはありますか？ (複数選択可)

